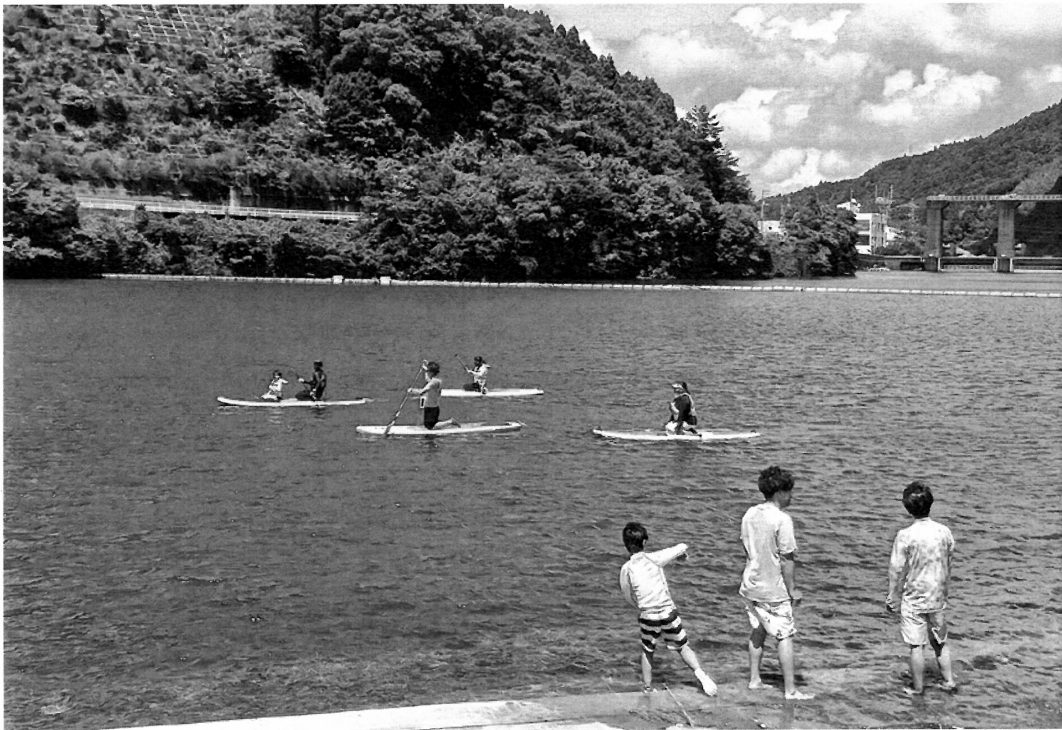


令和5年度

企業局の事業概要



徳島県企業局

ごあいさつ

徳島県企業局は、昭和25年に着手した那賀川河川総合開発事業の一環として、昭和31年に徳島県電気局の設置により発足して以来、昭和41年に工業用水道事業、昭和43年に土地造成事業、昭和48年には駐車場事業を、それぞれ時代の要請に呼応して展開してまいりました。

企業局は、発足から67年が経過し、公営企業を取り巻く環境は、当時から大きく変化しております。新たに世界的な潮流となっているカーボンニュートラルや、持続可能な開発目標SDGsの推進といった環境に対する取り組みはもとより、甚大な被害が想定される南海トラフ巨大地震や、頻発化・激甚化する豪雨災害に備えた事前復興の取り組みを強化していくことが求められています。

これらの課題に対し、今後、電気事業としては、日野谷発電所の大規模改修を戦略的に推進していくとともに、これまで培った知識や技術力を活かし、市町村・民間事業者等に対する技術支援や情報提供を行い、自然エネルギー導入拡大に積極的に取り組んでまいります。

また、工業用水道事業においては、災害対策として、老朽化した工業用水管の更新に併せた耐震化や、緊急時の給水対策といった災害の影響を軽減するための取り組みを進めることにより、「産業の血液」と言われている工業用水の安定した供給を目指しています。

さらに、土地造成事業では、昨今の企業の国内回帰・とくしま回帰の動向も踏まえ、企業誘致の「受け皿づくり」としての役割を果たせるよう、適正な維持管理に努めるとともに、駐車場事業では、観光客や周辺施設の利用者が快適に利用できるよう更なる利便性向上を図り、県都のにぎわいづくりに貢献してまいります。

新型コロナウイルス感染症や、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う物価上昇など、社会情勢の不安定な状況が続く中、今後の事業運営に当たっては、より効率的な経営に努めるとともに、行政改革や電力自由化など、企業局を取り巻く環境変化に的確に対応するため、「徳島県企業局経営計画」に基づき、健全な経営と公共福祉の増進に努めてまいりたいと考えております。

今後とも、県民の皆様をはじめ、関係各位の更なるご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和5年8月

徳島県公営企業管理者 企業局長 上 田 輝 明

目 次

1. 組織図及び人員配置	1
2. 事務分掌	2
3. 位置図	3
電気事業	5
1. 事業の概要	7
2. 総合管理推進センター	11
3. 水力発電所	12
4. 太陽光発電所	19
5. その他	21
6. 令和4年度決算(税抜)の概要	24
7. 令和5年度当初予算の概要	25
工業用水道事業	27
1. 事業の概要	29
2. 吉野川北岸工業用水道事業	29
3. 阿南工業用水道事業	35
4. 令和4年度決算(税抜)の概要	40
5. 令和5年度当初予算の概要	41
土地造成事業	43
1. 事業の概要	45
2. 事業実施地区の概要	46
3. 売却状況	47
4. 貸付状況	48
5. 令和4年度決算の概要	48
6. 令和5年度当初予算の概要	48
駐車場事業	49
1. 事業の概要	51
2. 藍場町地下駐車場	51
3. 松茂駐車場	56
4. 令和4年度決算の概要	58
5. 令和5年度当初予算の概要	58
資 料	59

表紙の写真は、川口ダム湖 カヌー・SUP 施設である
あくあ川口ベースで SUP 体験会が行われた際のものであります。

1. 組織図及び人員配置 (令和 5. 6. 1 現在)

(1) 本 局 (36)

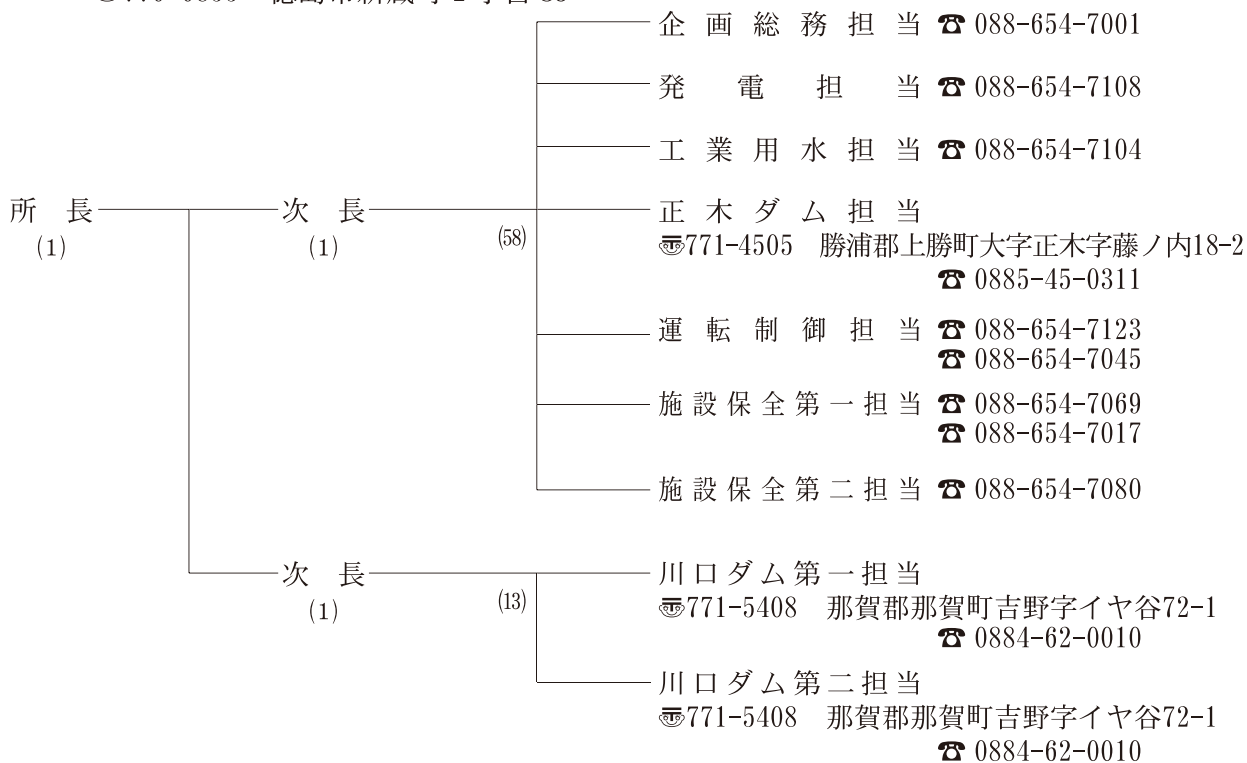
☎770-8570 徳島市万代町 1 丁目 1 番地



(2) 事 業 所 (74)

総合管理推進センター

☎770-0855 徳島市新蔵町 1 丁目 86



2. 事務分掌（主なもの）

(1) 経営企画戦略課

- 局の総合調整に関すること
- 人事及び給与管理に関すること
- 予算の編成及び執行に関すること
- 出納事務及び決算に関すること
- 資産の取得、管理及び処分に関すること
- 局の経営計画に関すること
- 局の災害対策の総合的な企画及び調整に関すること
- 工業用水道事業、土地造成事業、駐車場事業の経営に関すること

(2) 事業推進課

- 電気事業の経営に関すること
- 電気及び機械設備の工事計画、調査設計及び施工に関すること
- 自然エネルギー活用に係る調査、情報収集及び普及啓発に関すること
- 既存発電所の大規模改修に関すること

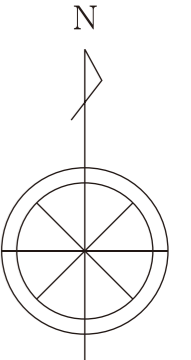
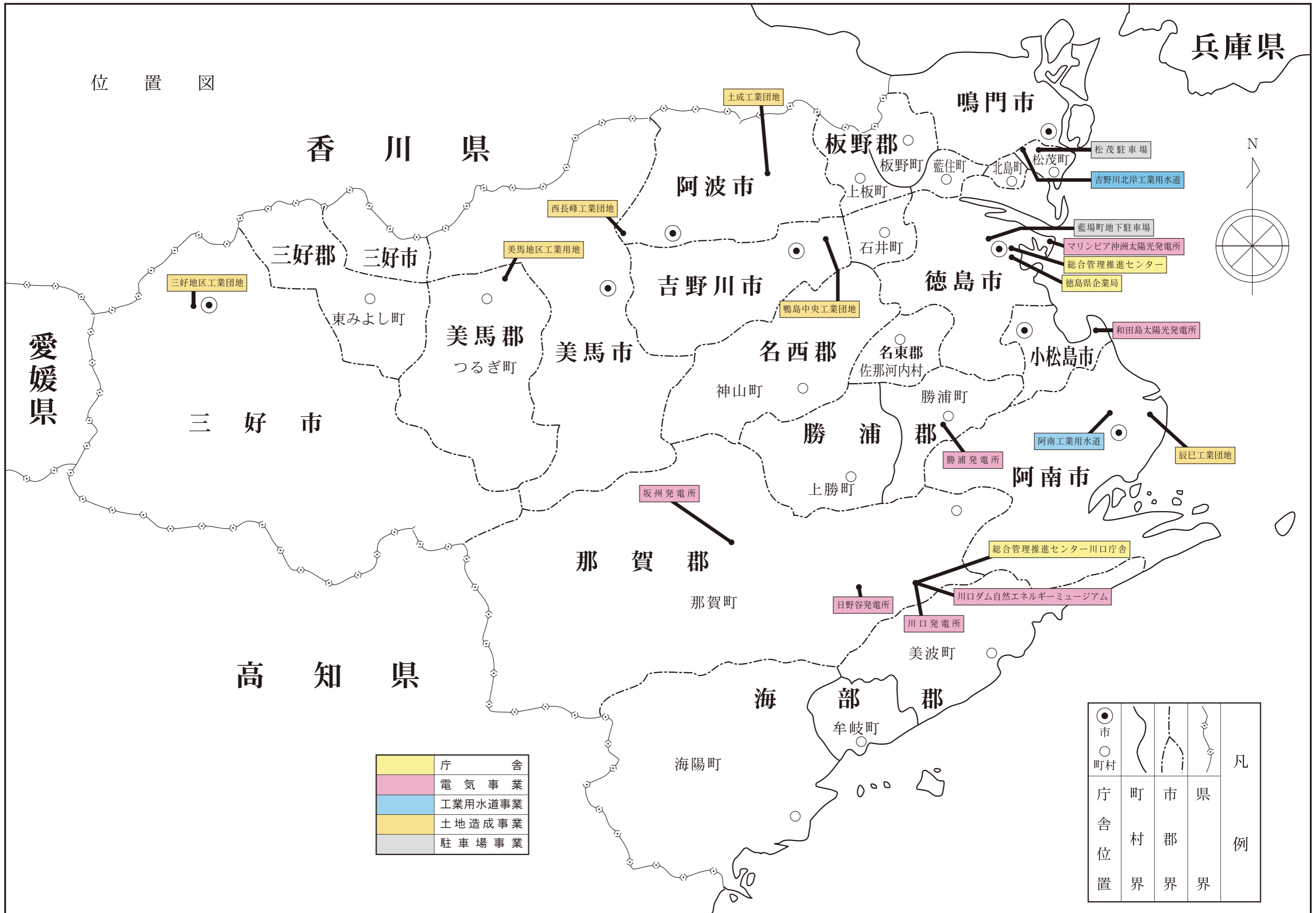
(3) 施設基盤整備室

- 土木建築工作物の工事計画、調査設計及び施工に関すること

(4) 総合管理推進センター

- 電気施設及び工業用水道施設の保守管理及び設備の設計、施工及び監督に関すること
- 那賀川及び勝浦川水系のダム、水路の操作及び管理に関すること
- 電気及び工業用水の供給に関すること

位置図



	庁舎
	電気事業
	工業用水道事業
	土地造成事業
	駐車場事業

●	市	○	町村	凡
—	庁界	- - -	町界	市界
—	舎位	- - -	村界	郡界
—	置	- - -	郡界	例

電 氣 事 業

1. 事業の概要

徳島県には吉野川、那賀川及び勝浦川の3大河川があり、その豊富な水量は全国でも有数のもので、そのうち、那賀川及び勝浦川の両河川に4つの県営水力発電所を設けています。

那賀川は、幹川流路延長125キロメートル、流域面積874平方キロメートルに及ぶ大河で、下流には6,500ヘクタールの沃野があり、県下有数の穀倉地帯であるが、この流域は台風の進路に直面する機会が多く、下流沿岸地域は古来幾たびか大水害を被り、殊に昭和21年の南海震災においては、下流一体が地盤沈下し、このため塩害による農作物の被害は莫大なものがありました。

これらの実情にかんがみ、那賀川を最も効果的に開発するため、那賀川河川総合開発事業が推進され、この事業の一環として県営電気事業を実施することとなり、那賀川水系に坂州発電所（追立ダム）、日野谷発電所（長安ロダム）及び川口発電所（川口ダム）の3発電所を建設しました。

一方、勝浦川は、流路延長50キロメートル、流域面積224平方キロメートルに及ぶ本県第4位の河川で、勝浦発電所は、この川の総合開発事業の一環として建設し、昭和52年5月に完成しました。

さらに、平成23年に発生した東日本大震災を契機として自然エネルギーへの期待が高まる中、本県が有する恵まれた日照時間を活かし、また、県として自らが率先して自然エネルギーの導入を促進するため、マリンピア沖洲太陽光発電所及び和田島太陽光発電所を設置し、平成25年度から運転を開始しています。

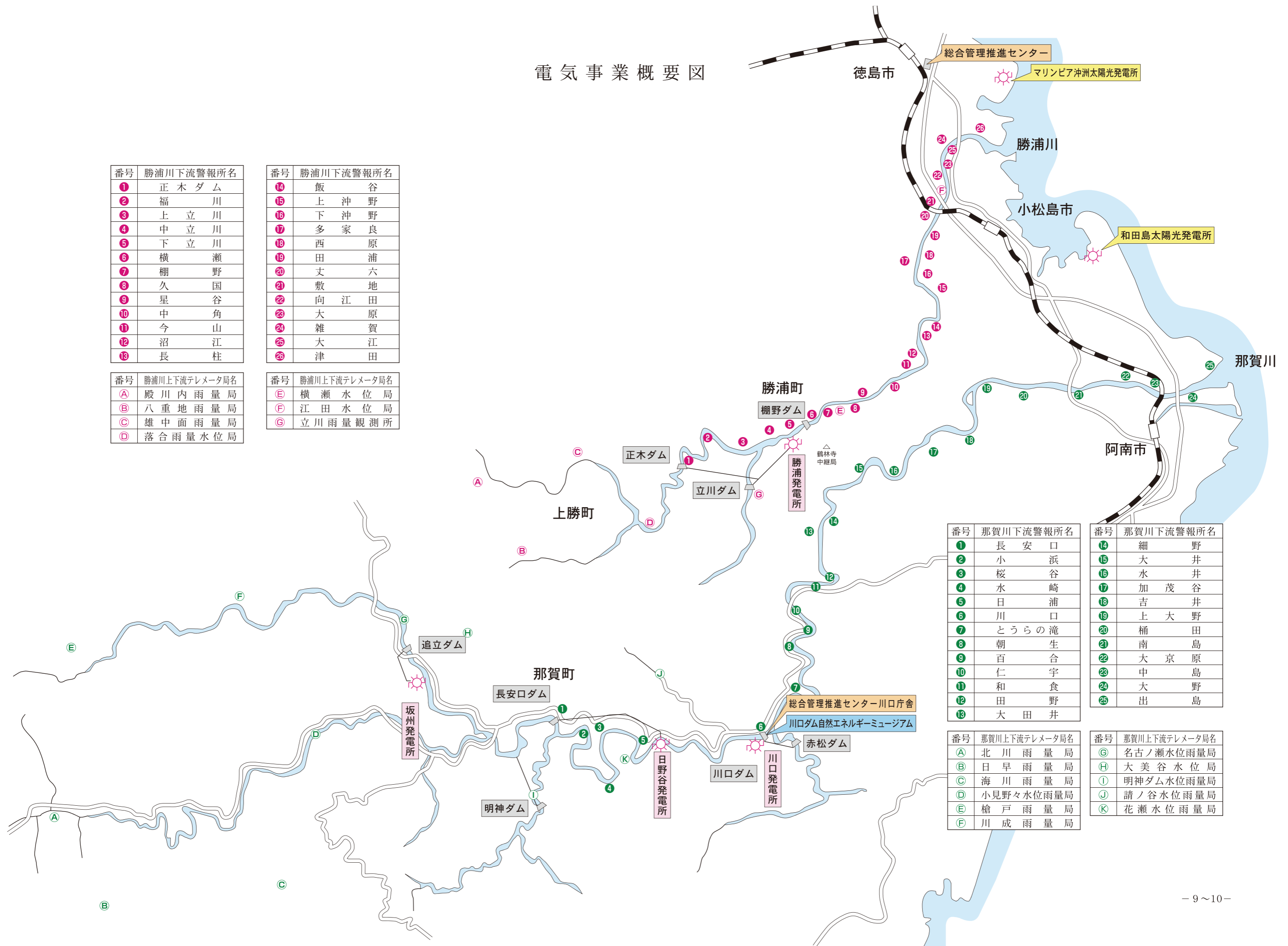
また、当企業局においては、昭和49年度に発電所設備近代化工事により、川口ダム左岸に発電総合管理事務所を建設し、日野谷、川口及び勝浦の3発電所を、昭和61年度からは坂州発電所も含め4発電所の遠隔監視制御を行ってきました。

さらに、発電所及び工業用水道の運転監視業務を統合、集中化し、総合化による保守管理業務の効率化を図るため、徳島市新蔵町に総合管理推進センターを建設し、平成11年4月1日から運用を開始し、現在では、水力4発電所及び2工業用水道の遠隔監視制御と、太陽光2発電所の遠隔監視を行っています。

水力発電所	水系	最大出力	常時出力	所在地
坂州発電所	那賀川	2,500 kW	120 kW	那賀郡那賀町坂州
日野谷発電所	那賀川	62,000 kW	14,400 kW	那賀郡那賀町日浦
川口発電所	那賀川	11,700 kW	3,000 kW	那賀郡那賀町吉野
勝浦発電所	勝浦川	11,300 kW	770 kW	勝浦郡勝浦町棚野
合計		87,500 kW	18,290 kW	

太陽光発電所	最大出力	所在地
マリンピア沖洲太陽光発電所	2,000 kW	徳島市東沖洲
和田島太陽光発電所	2,000 kW	小松島市和田島町松田新田

電気事業概要図



番号	勝浦川下流警報所名
①	正木ダム
②	福川
③	上立川
④	中立川
⑤	下立川
⑥	横瀬
⑦	棚野
⑧	久国
⑨	星谷
⑩	中角
⑪	今山
⑫	沼江
⑬	長柱

番号	勝浦川下流警報所名
⑭	飯谷
⑮	上沖野
⑯	下沖野
⑰	多家良
⑱	西原
⑲	田浦
⑳	丈六
㉑	敷地
㉒	向江田
㉓	大原
㉔	雑賀
㉕	大江
㉖	津田

番号	勝浦川上下流テレメータ局名
Ⓐ	殿川内雨量局
Ⓑ	八重地雨量局
Ⓒ	雄中面雨量局
Ⓓ	落合雨量水位局

番号	勝浦川上下流テレメータ局名
Ⓔ	横瀬水位局
Ⓕ	江田水位局
Ⓖ	立川雨量観測所

番号	那賀川下流警報所名
①	長安口
②	小浜
③	桜谷
④	水崎
⑤	日浦
⑥	川口
⑦	とうらの滝
⑧	朝生
⑨	百合
⑩	仁宇
⑪	和食
⑫	田野
⑬	大田井

番号	那賀川下流警報所名
⑭	細野
⑮	大井
⑯	水井
⑰	加茂谷
⑱	吉井
⑲	上大野
㉑	桶田
㉒	南島
㉓	大京原
㉔	中島
㉕	大野
㉖	出島

番号	那賀川上下流テレメータ局名
Ⓐ	北川雨量局
Ⓑ	日早雨量局
Ⓒ	海川雨量局
Ⓓ	小見野々水位雨量局
Ⓔ	槍戸雨量局
Ⓕ	川成雨量局

番号	那賀川上下流テレメータ局名
Ⓖ	名古ノ瀬水位雨量局
Ⓕ	大美谷水位局
⑴	明神ダム水位雨量局
Ⓖ	請ノ谷水位雨量局
Ⓖ	花瀬水位雨量局

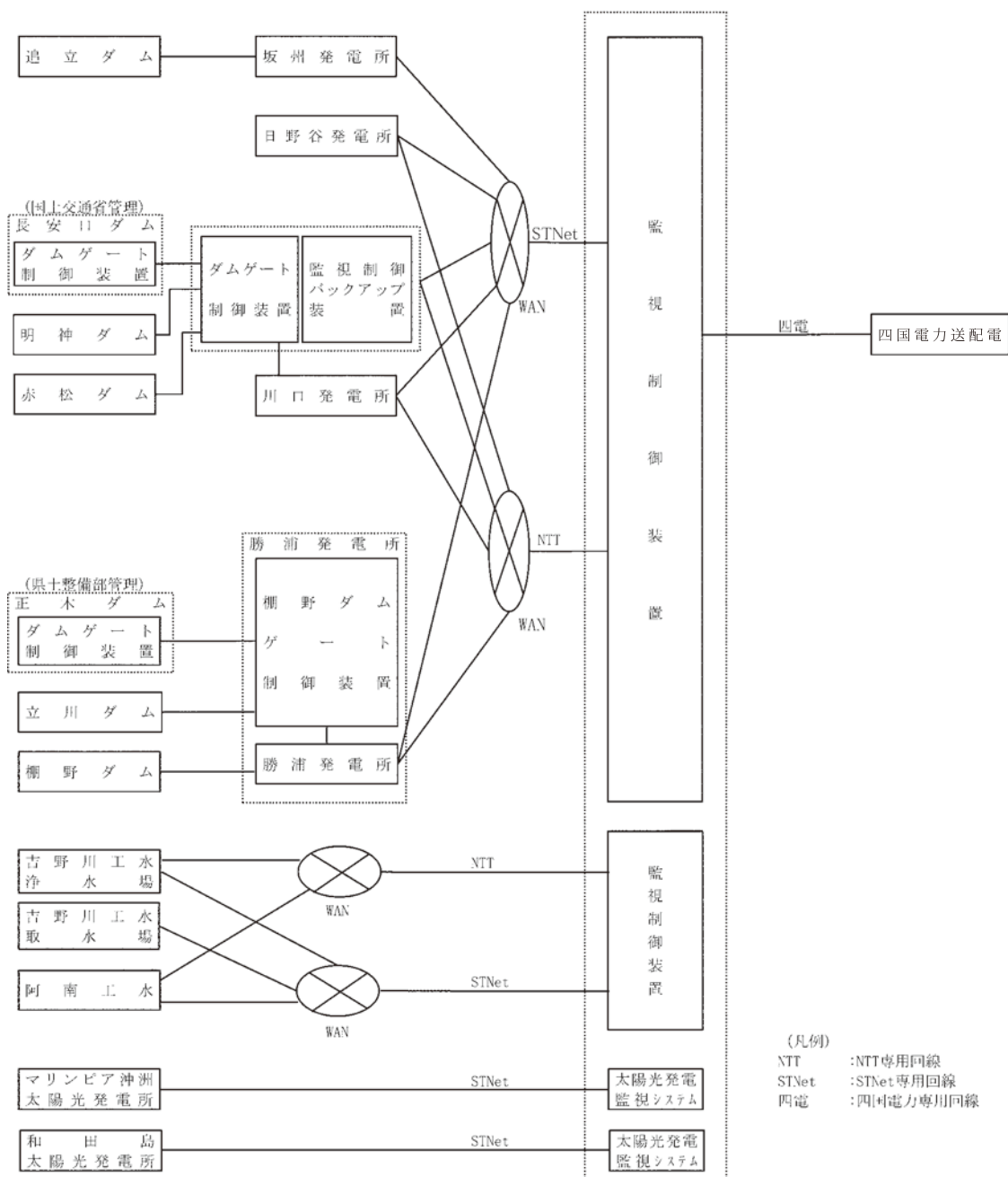
2. 総合管理推進センター

総合管理推進センターは、平成9年8月に工事に着手し、平成11年3月に竣工した鉄筋コンクリート造地上5階地下1階、延べ3,551㎡の建物であり、執務を行うとともに坂州・日野谷・川口・勝浦の4水力発電所及び吉野川北岸・阿南の2工業用水道の遠隔監視制御を行っています。

また、平成25年度からは、マリンピア沖洲・和田島の2太陽光発電所の遠隔監視も行っています。

総合管理機能の中核となる遠隔監視制御システムは、制御用コンピューターによって、オンライン情報をリアルタイムに処理・加工し、監視制御機能や帳票記録などの機能を有しています。

遠隔監視制御の概要



3. 水力発電所

(1) 発電施設の概要

坂州発電所－追立ダム

坂州発電所は、砂防用の追立ダムを利用し那賀川河川総合開発事業の工事用電力供給源として建設したもので、昭和27年5月運転を開始しました。その後、老朽化対策及び耐震化のため、平成30年3月に建物、発電設備のリニューアル工事が完成しました。最大出力2,500kW、常時出力120kWの水路式発電所です。

日野谷発電所－長安口ダム

長安口ダムは、那賀川河川総合開発事業の主体として建設したもので洪水調節、かんがい、上水道、工業用水及び発電等の多目的ダムであり、洪水調節についてはダム地点での計画洪水量6,400m³/秒のうち1,000m³/秒をカットすることができます。また、このダムには、昭和48年度にダムゲート制御装置を設置して、ダム地点の流入量に即応したダムゲートの開閉操作ができるようになりました。下流への放流警報については、昭和47年度に無線操作による警報設備を完成し、下流放流警報に万全を期しています。なお、平成19年4月に長安口ダムは国に移管され、国土交通省によりダム管理が行われています。

日野谷発電所は、長安口ダムの貯水を発電利用するもので、昭和30年11月一部運転を開始、昭和32年2月全運転を開始しました。最大出力62,000kW、常時出力14,400kWのダム水路式発電所です。

川口発電所－川口ダム

川口発電所は、上流の日野谷発電所の発電水量を逆調整する川口ダムを利用し、下流の水位変動を緩和するとともに発電を行うもので、昭和35年10月一部運転を開始、昭和36年8月全運転を開始しました。最大出力11,700kW、常時出力3,000kWのダム式発電所です。

また昭和60年度に、ダムゲート制御装置を設置して、ダム地点の流入量に即応したゲートの開閉操作を行っています。

勝浦発電所－正木ダム

勝浦発電所は、洪水調節、かんがい、工業用水及び発電等の多目的ダムとして建設した正木ダムの水を取水し発電するもので、昭和52年5月一部運転を開始、昭和52年11月全運転を開始しました。最大出力11,300kW、常時出力770kWのダム水路式発電所です。

また、発電所の運転方法は、流量の少ないときはピーク発電となるため、勝浦発電所に設置されているダムゲート自動制御装置により、発電所の下流約450mの地点にある棚野ダムゲートを制御し、勝浦発電所からの放水を逆調整することにより、下流の水位変動を緩和しています。

ア. 発電方式及び発電力その他

発電所(ダム)名		坂州(迫立)	日野谷(長安口)	川口(川口)	勝浦(正木)	
発電所の位置	単位	徳島県那賀郡那賀町坂州	徳島県那賀郡那賀町日浦	徳島県那賀郡那賀町吉野	徳島県勝浦郡勝浦町棚野	
発電方式		水路式	ダム水路式	ダム式	ダム水路式	
取水口位置		徳島県那賀郡那賀町坂州	徳島県那賀郡那賀町長安	徳島県那賀郡那賀町吉野	徳島県勝浦郡上勝町正木	
放水口位置		徳島県那賀郡那賀町坂州	徳島県那賀郡那賀町日浦	徳島県那賀郡那賀町吉野	徳島県勝浦郡勝浦町棚野	
水系河川名		那賀川水系坂州木頭川	那賀川水系那賀川及び古屋川	那賀川水系那賀川及び赤松川	勝浦川水系勝浦川及び立川	
運転開始年月		昭和27年5月	(一部)昭和30年11月 (全部)昭和32年2月	(一部)昭和35年10月 (全部)昭和36年8月	(一部)昭和52年5月 (全部)昭和52年11月	
工期		着工 昭和25年10月 竣工 昭和27年5月	着工 昭和25年10月 竣工 昭和32年2月	着工 昭和31年8月 竣工 昭和36年8月	着工 昭和45年6月 竣工 昭和52年11月	
建設費(注1)	百万円	376	6,520	2,045	4,494	
取水位	最高標高	m	276.85	225.00	95.00	183.00
	最低標高	m	—	195.00	93.50	158.00
放水位	最高標高	m	225.92	95.00	74.01	41.50
	最低標高	m	225.36	94.54	73.38	37.70
使用水量	最大	m ³ /s	6.30	(注2) 60.00 62.00	70.00	10.00
	常時	m ³ /s	0.68	14.63	17.75	1.91
有効落差	最大使用水量時	m	47.56	116.47	20.49	132.60
	常時使用水量時	m	49.10	113.68	20.88	130.42
発電力	最大	kW	2,500	62,000	11,700	11,300
	常時	kW	120	14,400	3,000	770
4年度実績供給電力量	kWh	4,530,807	195,796,788	35,566,223	26,797,140	
5年度予定供給電力量	kWh	6,800,000	243,700,000	45,700,000	35,300,000	

(注1) 日野谷及び勝浦発電所の建設費は、電気事業者分の事業費である。

(注2) 長安口ダムからゲート放流中(ゲート放流を決定しているときを含む)に限り、最大出力62,000 kWを超えない範囲で最大62.00 m³/sまで増量する。

イ. ダム及び貯水池（調整池）その他

発電所（ダム）名			坂州（追立）	日野谷（長安口）	川口（川口）	勝浦（正木）	勝浦（棚野）
ダム	位置	単位	徳島県那賀郡那賀町坂州	徳島県那賀郡那賀町長安	徳島県那賀郡那賀町吉野	徳島県勝浦郡上勝町正木	徳島県勝浦郡勝浦町棚野
	流域面積	km ²	40.4	538.9	657.3	105.7	133.3
	型式		直線重力溢流コンクリート	直線重力溢流コンクリート	直線重力溢流コンクリート	直線重力溢流コンクリート	直線重力溢流コンクリート
	頂長	m	79.2	200.7	182.5	215.0	56.9
	高さ	m	29.5	85.5	30.0	67.0	8.5
	堤体積	m ³	16,200	388,000	53,500	248,800	4,351
	ゲート高×巾×門	m	ローラーゲート 4.0×3.0×1	ローラーゲート 14.7×10.0×6 20.52×10.0×1 19.64×10.0×1	ローラーゲート 13.8×13.0×6	主ゲート：高圧ラジアルゲート 4.0×4.8×2	シェルローラーゲート 5×28×1 ローラーゲート 5.5×3×1
貯水池	満水位標高	m	276.85	225.0	95.0	183.0	41.5
	低水位標高	m	—	195.0	93.5	158.0	37.0
	利用水深	m	—	30.0	1.5	25.0	4.5
	満湛水面積	km ²	0.01	2.24	0.87	0.7	0.048
	全容量	m ³	923,000	54,278,000	6,463,000	13,750,000	138,000
	有効容量	m ³	—	35,000,000	950,000	10,600,000	135,000
取水口（スクリーン）高×巾×門		m	2.6×3.1×2	12.0×4.5×4	13.5×6×2	44.90×6.0×1	
導水路	形、内径、配勾	m	無圧 矩形2.0×2.5 1/800	圧力 円・4.7~4.0 1/250	—	圧力、標準馬蹄型 2.36 平均 1/420	
	延長	m	1,755	5,186	—	6,093.34	
水槽	内径、高	m	4.0×3.0	12.0 ~23.0×61.4	—	本体3.5×53.5 上部水室 10.0×10.0	
水圧鉄管	内径、本数	m	φ0.92~ φ1.85×1	φ2.25~ φ2.8×3	φ3.2~ φ3.6×2	φ1.4~ φ2.36×1	
	延長	m	63.9	146.5	25.0	263.6	
	厚さ	mm	9.0	12.0~24.0	12.0	9.0~16.0	
発電所建築面積		m ²	125.1	646.0	774.0	546.9	
放水路	形、内径、配勾	m	暗渠型： 4.0×1.7 上向1/10,000	開渠型： 16.0×2.85 上向1/9,500 下向1/2,000	トンネル型： 5.6 上向17.2/100	開渠型： 平均4.0×7.0 上向1/13.3	
	延長	m	34.7	50.0	38.2	13.0	

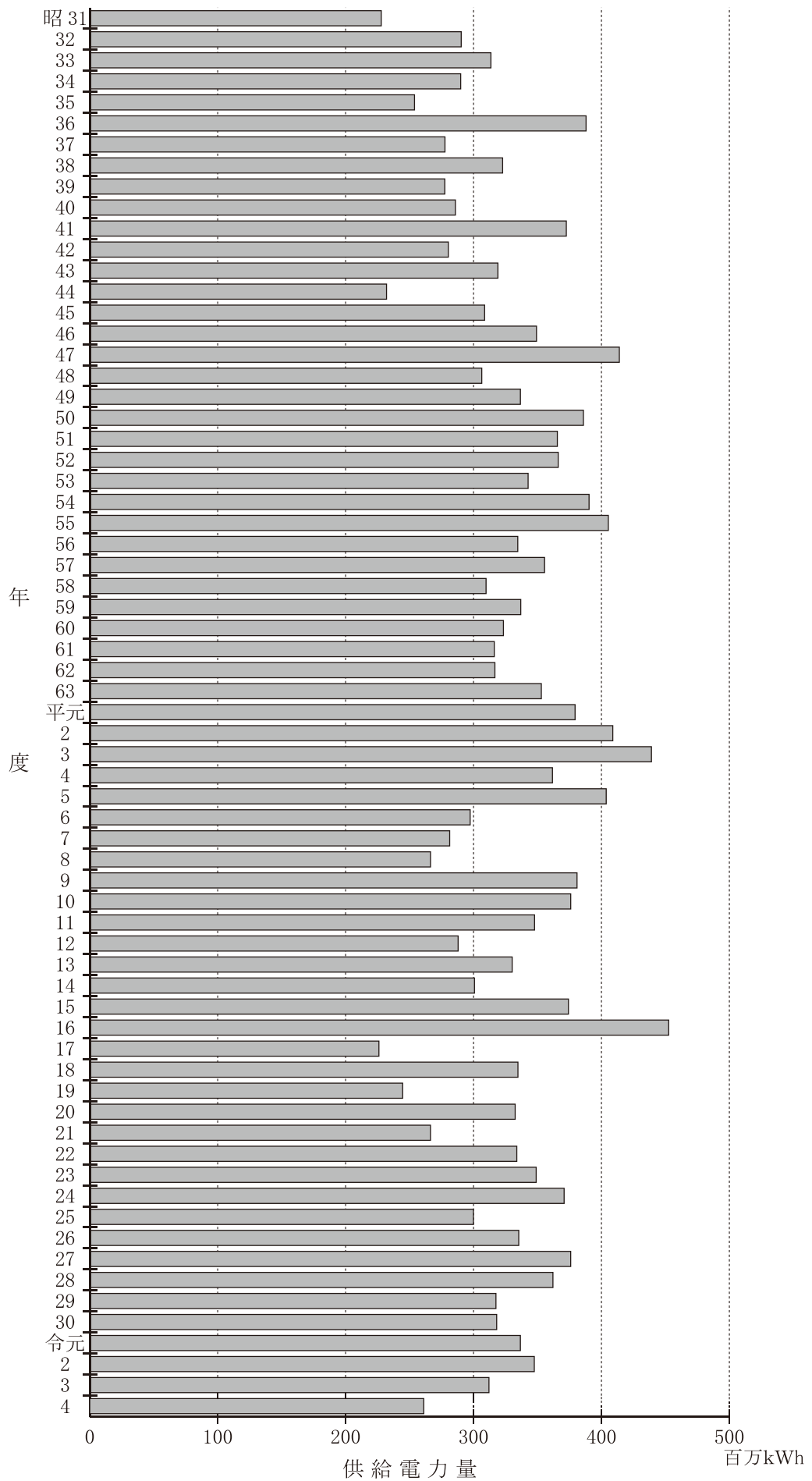
ウ. 主要機器

発電所(ダム)名			坂州(追立)	日野谷(長安口)	川口(川口)	勝浦(正木)
水車	型式	単位	横軸両掛フランシス	立軸フランシス	立軸カプラン	立軸フランシス
	容量	kW	2,620	26,200	6,600	11,600
	台数		1	3	2	1
	回転数	rpm	600	360	257	514
	使用水量	m ³ /秒	6.3	23	36	10
発電機	型式		横軸回転界磁型 交流三相同期	立軸回転界磁型 交流三相同期	立軸回転界磁傘型 交流三相同期	立軸回転界磁型 交流三相同期
	容量	kVA	2,800	24,000	7,000	12,600
	台数		1	3	2	1
	回転数	rpm	600	360	257	514
	電圧	V	6,600	11,000	6,600	11,000
	力率	%	95	87.5	87.5	90
	周波数	Hz	60	60	60	60
主要変圧器	型式			屋外用内鉄型 油入自冷式	屋外用内鉄型 ガス入自冷式	屋外用内鉄型 油入自冷式
	容量	kVA		24,000	14,000	12,600
	相			三相	三相	三相
	周波数	Hz		60	60	60
	台数			3	1	1
	電圧	kV		1次 10.5 2次 69、66、63	1次 6.3 2次 69、66.4、63.5、60.6	1次 10.5 2次 69、66、63
	接続			1次 Δ 2次 Δ	1次 Δ 2次 Δ	1次 Δ 2次 Δ

(2) 発電実績の推移

年度	予定供給電力量 (kWh)	実績供給電力量 (kWh)	供給率 (%)	年度	予定供給電力量 (kWh)	実績供給電力量 (kWh)	供給率 (%)
昭和 31	279,950,000	227,882,406	81.4	平成 2	370,040,000	408,883,100	110.5
32	299,300,000	290,391,040	97.0	3	370,010,000	439,069,500	118.7
33	301,460,000	313,609,220	104.0	4	370,640,000	361,711,500	97.6
34	301,550,000	289,981,850	96.2	5	371,790,000	403,732,400	108.6
35	311,660,000	253,877,240	81.5	6	371,610,000	297,378,500	80.0
36	348,880,000	387,986,680	111.2	7	372,060,000	281,381,200	75.6
37	346,270,000	277,685,020	80.2	8	370,440,000	266,384,200	71.9
38	347,900,000	322,760,910	92.8	9	368,520,000	380,922,500	103.4
39	344,410,000	277,553,090	80.6	10	370,440,000	375,997,100	101.5
40	337,260,000	285,841,760	84.8	11	361,430,000	347,722,500	96.2
41	342,000,000	372,551,030	108.9	12	370,440,000	287,963,700	77.7
42	337,620,000	280,323,020	83.0	13	361,300,000	330,219,200	91.4
43	342,290,000	319,063,200	93.2	14	347,940,000	300,753,700	86.4
44	339,030,000	232,013,660	68.4	15	347,942,000	374,220,300	107.6
45	309,900,000	308,693,180	99.6	16	342,790,000	452,584,900	132.0
46	334,880,000	349,252,310	104.3	17	342,790,000	226,055,500	65.9
47	334,170,000	413,999,210	123.9	18	347,510,000	334,741,600	96.3
48	334,430,000	306,458,900	91.6	19	347,510,000	244,596,800	70.4
49	336,140,000	336,638,100	100.1	20	334,700,000	332,569,200	99.4
50	334,880,000	385,907,800	115.2	21	334,700,000	266,359,900	79.6
51	334,890,000	365,548,250	109.2	22	330,900,000	333,845,700	100.9
52	374,480,000	366,208,800	97.8	23	330,900,000	348,985,500	105.5
53	383,010,000	342,684,500	89.5	24	324,000,000	370,829,000	114.5
54	382,500,000	390,325,500	102.0	25	324,000,000	299,919,000	92.6
55	379,640,000	405,397,900	106.8	26	326,300,000	335,367,500	102.8
56	379,920,000	334,607,000	88.1	27	326,300,000	375,978,770	115.2
57	380,560,000	355,511,100	93.4	28	326,100,000	362,096,697	111.0
58	379,040,000	309,799,000	81.7	29	326,100,000	317,543,335	97.4
59	378,240,000	336,938,800	89.1	30	329,400,000	318,120,080	96.6
60	376,220,000	323,391,100	86.0	令和元	329,400,000	336,616,742	102.2
61	375,330,000	316,240,800	84.3	2	329,800,000	347,519,048	105.4
62	374,460,000	316,722,400	84.6	3	329,800,000	312,088,304	94.6
63	372,220,000	353,024,100	94.8	4	331,500,000	262,690,958	79.2
平成元	370,620,000	379,400,700	102.4	累 計		22,163,117,510	

発電実績



(3) 料金契約の推移

年度	契約料金 (円)	契約基準電力量 (kWh)	単 価 (円/kWh)	年度	契約料金 (円)	契約基準電力量 (kWh)	単 価 (円/kWh)
昭和 31	701,972,590	300,000,800	2.34	平成 2	2,951,300,000	370,040,000	7.98
32	730,000,000	305,400,000	2.39	3	"	"	"
33	"	"	"	4	3,011,900,000	370,640,000	8.13
34	"	"	"	5	"	"	"
35	811,000,000	311,327,700	2.60	6	3,068,700,000	371,610,000	8.26
36	952,428,951	350,527,400	2.72	7	"	"	"
37	957,000,000	351,620,000	"	8	3,098,700,000	370,440,000	8.36
38	"	"	"	9	"	"	"
39	"	"	"	10	3,083,352,000	"	8.32
40	"	"	"	11	"	"	"
41	"	"	"	12	3,048,589,000	"	8.23
42	991,000,000	337,620,000	2.94	13	"	"	"
43	"	"	"	14	2,890,041,000	347,940,000	8.31
44	"	"	"	15	"	"	"
45	"	"	"	16	2,702,685,000	342,790,000	7.88
46	"	"	"	17	"	"	"
47	1,045,000,000	334,170,000	3.13	18	2,570,256,000	347,510,000	7.40
48	"	"	"	19	"	"	"
49	1,131,800,000	"	3.39	20	2,445,911,000	334,700,000	7.31
50	1,159,800,000	"	3.47	21	"	"	"
51	1,302,770,000	334,890,000	3.89	22	2,417,765,000	330,900,000	7.31
52	1,766,750,097	374,480,000	4.72	23	"	"	"
53	1,893,129,000	382,680,000	4.95	24	2,418,165,000	324,000,000	7.46
54	"	"	"	25	"	"	"
55	2,117,000,000	379,640,000	5.58	26	2,581,334,000	326,300,000	7.91
56	"	"	"	27	"	"	"
57	2,476,000,000	380,560,000	6.51	28	2,771,948,000	326,100,000	8.50
58	"	"	"	29	"	"	"
59	2,674,000,000	378,240,000	7.07	30	2,803,861,000	329,400,000	8.51
60	"	"	"	令和元	"	"	"
61	2,817,000,000	375,330,000	7.51	2	2,948,157,000	329,800,000	8.94
62	"	"	"	3	"	"	"
63	2,894,300,000	372,220,000	7.78	4	3,104,068,000	331,500,000	9.36
平成元	"	"	"	5	"	"	"

(注) 消費税等相当額を含まない。

4. 太陽光発電所

(1) 発電施設の概要

マリンピア沖洲太陽光発電所

マリンピア沖洲太陽光発電所は、廃棄物最終処分場跡地に建設した太陽光発電所（メガソーラー）であり、平成25年4月に運転開始しました。

和田島太陽光発電所

和田島太陽光発電所は、小松島市和田島の港湾施設に建設したメガソーラーであり、平成25年10月に運転開始しました。

出力2,000kWのうち、200kWを災害時の非常用電源として、近隣の広域避難所に供給できるシステムを備えています。

施 設 の 概 要

発電所名		マリンピア沖洲太陽光発電所	和田島太陽光発電所	
発電所の位置	単位	徳島県徳島市東沖洲1丁目23番地	徳島県小松島市和田島町字松田新田165-21	
運転開始年月		平成25年4月	平成25年10月	
工期		着工 平成24年10月 竣工 平成25年4月	着工 平成24年12月 竣工 平成25年10月	
建設費	百万円	635	688	
敷地面積	m ²	27,164	28,892	
最大出力	kW	2,000	2,000	
年間計画電力量(運転時)	kWh	2,389,000	2,418,000	
太陽電池	種類	多結晶シリコン	多結晶シリコン	
	モジュール変換効率	%	14.5	14.9
	モジュール構成		12直列×19並列×12ユニット 12直列×18並列×28ユニット	14直列×154並列×3ユニット 14直列×156並列×1ユニット
	モジュール枚数	枚	8,784	8,652
	最大出力	kW	2,108 (240W/モジュール)	2,119 (245W/モジュール)
	最大出力動作電圧	V	29.7/モジュール	30.67/モジュール
	最大出力動作電流	A	8.17/モジュール	7.99/モジュール
逆変換装置	電力変換方式	電圧型電流瞬時値制御方式(自励) 三相3線式	電圧型電流瞬時値制御方式(自励) 三相3線式	
	台数	台	4	4(災害対応 2)
	定格容量	kW	500	500(災害対応 100)
	定格出力電圧	V	AC 210	AC 210
	定格入力電圧	V	DC 350	DC 350
	周波数	Hz	60	60
	運転力率		0.95	0.93
送電設備	送電用変圧器	混触防止板付油入自冷式三相変圧器 三相3線式	混触防止板付油入自冷式三相変圧器 三相3線式	
	受電電圧	kV	6.6	6.6
	設備容量	kVA	2,100	2,100
	周波数	Hz	60	60

(2) 発電実績の推移

年 度	マリニピア沖洲			和 田 島			計		
	計画電力量 (kWh)	供給電力量 (kWh)	供給率 (%)	計画電力量 (kWh)	供給電力量 (kWh)	供給率 (%)	計画電力量 (kWh)	供給電力量 (kWh)	供給率 (%)
平成 25	2,215,365	2,638,488	119.1	861,544	1,078,085	125.1	3,076,909	3,716,573	120.8
平成 26	2,360,000	2,805,790	118.9	2,389,000	2,899,920	121.4	4,749,000	5,705,710	120.1
平成 27	2,332,000	2,759,730	118.3	2,360,000	2,802,710	118.8	4,692,000	5,562,440	118.6
平成 28	2,304,000	2,817,810	122.3	2,332,000	2,788,060	119.6	4,636,000	5,605,870	120.9
平成 29	2,276,000	2,869,170	126.1	2,304,000	2,978,800	129.3	4,580,000	5,847,970	127.7
平成 30	2,249,000	2,770,220	123.2	2,276,000	2,907,730	127.8	4,525,000	5,677,950	125.5
令和元	2,322,000	2,744,457	118.2	2,353,000	2,834,275	120.5	4,675,000	5,578,732	119.3
令和 2	2,324,000	2,872,441	123.6	2,353,000	2,982,796	126.8	4,677,000	5,855,237	125.2
令和 3	2,318,000	2,789,400	120.3	2,347,000	2,872,132	122.4	4,665,000	5,661,532	121.4
令和 4	2,312,000	2,826,419	122.2	2,341,000	2,926,332	125.0	4,653,000	5,752,751	123.6
累 計		27,893,925			27,070,840			54,964,765	

(3) 売電料金実績の推移

(単位：円)

年 度	マリニピア沖洲	和 田 島	計
平成 25	105,539,520	43,123,400	148,662,920
平成 26	112,231,600	115,996,800	228,228,400
平成 27	110,389,200	112,108,400	222,497,600
平成 28	112,712,400	111,522,400	224,234,800
平成 29	114,766,800	119,152,000	233,918,800
平成 30	110,808,800	116,309,200	227,118,000
令和元	109,778,280	113,371,000	223,149,280
令和 2	114,897,640	119,311,840	234,209,480
令和 3	111,576,000	114,885,280	226,461,280
令和 4	113,056,760	117,053,280	230,110,040
累 計	1,115,757,000	1,082,833,600	2,198,590,600

(注) 単価 40 円/kWh 【税抜】

5. そ の 他

(1) 長安口ダム資料館（愛称：ビーバー館）

自然環境との調和を図りながら、人々に親しまれる水と緑のダム周辺環境を提供し、ダムや水力発電のしくみやその役割をわかりやすく理解してもらうために建設したもので、平成10年6月7日に開館しました。

規模は、木造平屋建て約200㎡で、展示面積は約80㎡です。

(利用状況)

	入館者 (人)	開館日数 (日)	1日平均 (人)		入館者 (人)	開館日数 (日)	1日平均 (人)
平成10年度	9,567	248.5	38.5	平成23年度	8,320	308	27.0
平成11年度	9,543	309	30.9	平成24年度	8,782	308	28.5
平成12年度	9,236	308	30.0	平成25年度	8,043	305	26.4
平成13年度	8,542	308	27.7	平成26年度	6,923	307	22.6
平成14年度	7,732	307	25.2	平成27年度	7,414	310	23.9
平成15年度	11,077	312	35.5	平成28年度	3,246	308	10.5
平成16年度	9,487	307	30.9	平成29年度	3,747	307	12.2
平成17年度	10,031	308	32.6	平成30年度	4,305	307	14.0
平成18年度	10,261	308	33.3	令和元年度	4,117	286	14.4
平成19年度	10,034	308	32.6	令和2年度	3,819	291	13.1
平成20年度	8,812	308	28.6	令和3年度	2,269	271	8.4
平成21年度	10,208	303	33.7	令和4年度	2,598	304	8.5
平成22年度	9,339	309	30.2	累 計	187,452		

(2) 太陽光発電

平成12年3月に、総合管理推進センターの屋上に出力10kWの太陽光発電システムを設置し、所内電力の一部をまかなっています。

設 備 の 概 要

太陽 電 池	種 類	結晶系シリコン (HIT)	逆 変 換 装 置	電力変換方式	電圧型電流制御方式 単相3線式
	モジュール変換効率	14.1%		定 格 容 量	10kW
	モジュール構成	6直列×10並列		定 格 出 力 電 圧	AC202V
	最 大 出 力	10.02kW		定 格 入 力 電 圧	DC400V
	最大出力動作電圧	291.6V		運 転 力 率	0.95以上
	最大出力動作電流	34.4A		製 造 者	株式会社安川電機
	製 造 者	三洋電機株式会社			

発 生 電 力 量

年 度	発生電力量kWh インバータ出力	年 度	発生電力量kWh インバータ出力
平成 12 年度	10,737	平成 24 年度	9,995
平成 13 年度	10,993	平成 25 年度	10,320
平成 14 年度	10,443	平成 26 年度	9,743
平成 15 年度	10,076	平成 27 年度	9,665
平成 16 年度	10,293	平成 28 年度	10,674
平成 17 年度	9,668	平成 29 年度	10,888
平成 18 年度	9,824	平成 30 年度	10,807
平成 19 年度	10,306	令和 元 年度	10,619
平成 20 年度	9,939	令和 2 年度	10,945
平成 21 年度	9,251	令和 3 年度	10,007
平成 22 年度	10,162	令和 4 年度	10,746
平成 23 年度	9,606	累 計	235,707

(3) 川口ダム自然エネルギーミュージアム

発電と環境の関わりや、科学技術における一步先の未来への関心を高め、自然エネルギー普及促進と次代の技術者育成に寄与するため、平成 28 年 7 月 23 日に川口ダム横に「川口ダム自然エネルギーミュージアム」を整備しました。

ここでは、「自然エネルギー」や「デジタルアート」のほか、最先端技術の「コミュニケーションロボット」や「水素燃料電池車」などを実際に「見て」、「触れて」、「感じて」もらい、次代を担う子どもたちが、楽しみながら学べます。

川口ダム管理所内の一部を使用しており、規模は約 256 m²で、映像展示室 90 m²、環境学習室 76 m²です。

また、地域のにぎわいづくりのため、川口ダム自然エネルギーミュージアムの第 2 駐車場にカーヌー・SUP 施設を整備し、各種イベントを実施しています。

(利用状況)

	入 館 者 (人)	開 館 日 数 (日)	1 日 平 均 (人)		入 館 者 (人)	開 館 日 数 (日)	1 日 平 均 (人)
平成 28 年度	14,126	216	65.4	令和 2 年度	6,535	298	21.9
平成 29 年度	17,370	317	54.8	令和 3 年度	7,945	290	27.4
平成 30 年度	16,577	317	52.3	令和 4 年度	8,657	315	27.5
令和 元 年度	15,421	300	51.4	累 計	86,631		

(周辺の発電設備)

	太陽光発電	小型水力発電	小型風力発電 (プロペラ型)	小型風力発電 (サボニウス型)	薪発電ストーブ
出 力	10kW	0.75kW×2基	1 kW	30W	1 kW
負 荷	管理所等	掲示板	照明	照明	啓発用
設備概要	<モジュール> 単結晶シリコン型 変換効率14.1% <変換装置> 電圧型電流制御方式 三相3線式 出力電圧 AC202V 入力電圧 DC400V	<発電機> 永久磁石式同期型 <水車> 垂直2軸クロスフロー式 <有効落差> 0.53m <最大使用水量> 0.46m ³ /s	<高さ> 7,094mm <ローター> 直径1,800mm <カットイン> 2.5m/s <カットアウト> なし	<高さ> 5,840mm <ローター> 直径380mm× 高さ1,160mm <カットイン> 1.5m/s <カットアウト> なし	<燃料> 薪、竹、廃材、木質 チップ等 <燃焼方式> ロケットストーブ方式 <発電機> フリーピストンスターリング エンジン及びびりニア 発電機

※いずれも売電していません

(4) 小水力発電

山間地域の溪流などの水資源を利用し、電力の地産地消により地球温暖化対策等に貢献できる小水力発電機の開発を目指し、阿南工業高等専門学校との連携のもと、平成31年3月に美馬市木屋平地区の2か所において、ピコ水力発電機を試験導入しました。その後、木屋平釣り堀ピコ水力発電所については、徳島大学との連携に移行し、実証実験を継続しています。なお、木屋平総合支所ピコ水力発電所については、令和4年3月に実証実験を終了しています。

施 設 の 概 要

発 電 所 名	木屋平釣り堀ピコ水力発電所	木屋平総合支所ピコ水力発電所 (実証実験終了)
位 置	美馬市木屋平字川上カケ74-2	美馬市木屋平字川井161
実証実験期間	平成31年3月～実証実験中	平成31年3月～令和4年3月
最 大 出 力	0.4kW	0.8kW
発 電 機	永久磁石式同期型	永久磁石式同期型
水 車	プロペラ式	ペルトン式
そ の 他	固定価格買取制度による売電	固定価格買取制度による売電

6. 令和4年度決算（税抜）の概要

（単位：千円）

区分		令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減 R4 - R3
収 益 的 収 支	(事業収益)			
	1 営業収益	3,358,655	3,368,785	△ 10,130
	(1) 電力料	2,975,110	2,916,453	58,657
	(2) 太陽光発電電力料	230,110	226,461	3,649
	(3) 営業雑収益	153,435	225,871	△ 72,436
	2 営業外収益	16,075	13,416	2,659
	(1) 受取利息及び配当金	2,271	1,697	574
	(2) 長期前受金戻入	643	229	414
	(3) 雑収益	13,161	11,490	1,671
	事業収益合計A	3,374,730	3,382,201	△ 7,471
	(事業費用)			
	1 営業費用	3,095,885	3,094,406	1,479
	(1) 水力発電費	2,337,785	2,364,802	△ 27,017
	(2) 一般管理費	594,916	596,693	△ 1,777
(3) 太陽光発電費	163,184	132,911	30,273	
2 営業外費用	7	10	△ 3	
(1) 雑損失	7	10	△ 3	
事業費用合計B	3,095,892	3,094,416	1,476	
純利益A - B	278,838	287,785	△ 8,947	

7. 令和5年度当初予算の概要

(単位:千円)

区分			電気事業				
			5年度 (a)	4年度 (b)	増減 (a-b)	前年度対比(%) (a/b×100)	
収益的 収支	事業収益 (A)	営業収益	3,804,574	3,903,112	△ 98,538	97.5	
		財務収益	1,588	1,370	218	115.9	
		事業外収益	5,940	6,421	△ 481	92.5	
		計	3,812,102	3,910,903	△ 98,801	97.5	
	事業費用 (B)	営業費用	3,389,397	3,464,767	△ 75,370	97.8	
		財務費用	1	1	0	100.0	
		事業外費用	134,815	111,165	23,650	121.3	
		特別損失	2,000	2,000	0	100.0	
		予備費	3,000	3,000	0	100.0	
		計	3,529,213	3,580,933	△ 51,720	98.6	
	純利益 (A - B)			282,889	329,970	△ 47,081	85.7
	資本的 収支	資本的収入 (C)	固定資産売却代	300	1,023	△ 723	29.3
他会計長期貸付金等返還金			312,386	517,786	△ 205,400	60.3	
その他の収入			833	0	833	皆増	
計			313,519	518,809	△ 205,290	60.4	
資本的支出 (D)		建設改良費	811,599	1,010,748	△ 199,149	80.3	
		投資	5,728	200,100	△ 194,372	2.9	
		計	817,327	1,210,848	△ 393,521	67.5	
資本的収支差引 (C - D)			△ 503,808	△ 692,039	188,231	72.8	
	補 て ん 財 源	消費税及び地方消費税資本的収支調整額	73,678	91,796	/		
		建設改良積立金	430,130	386,465			
		損益勘定留保資金	0	213,778			

工業用水道事業

1. 事業の概要

昭和 39 年徳島市を中心とした県東部臨海地域が新産業都市に指定されたのに伴い、産業基盤を整備し、本県産業の発展と県民の福祉増進を図るため、県企画開発部において計画した工業用水道事業を企業局が引継ぎ、昭和 41 年 4 月 1 日地方公営企業として工業用水道事業を設置しました。

当時、既存の工業地帯の周辺部や、新しく発展しつつあった工業地帯においては、工業生産の拡大とともに地下水の取水量が増大し、地下水位の異常低下による地盤沈下、あるいは地下水の塩分濃度上昇による水質悪化等の事態が生じ、工業用水の安定確保の面のみならず社会的にも大きな問題となりつつありました。

県においては、これらの問題解決を図るとともに、新規工場誘致に伴う工業用水需要の見通し等を勘案して、豊富で良質な工業用水を確保するため、本県の 3 大河川である吉野川、那賀川及び勝浦川を水源とする工業用水道の整備計画を樹立しました。

現在、吉野川を水源とした吉野川北岸工業用水道及び那賀川を水源とした阿南工業用水道を運営し、安定した工業用水の供給を行っています。

なお、平成 11 年 4 月 1 日から、徳島市内に建設した総合管理推進センターにおいて、吉野川北岸工業用水道及び阿南工業用水道の遠隔監視制御を行っています。

2. 吉野川北岸工業用水道事業

吉野川北岸工業用水道は、吉野川の支流である旧吉野川の表流水を取水し、浄水場で水処理を行ったのち、徳島市、鳴門市及び板野郡の工場群へ給水するもので、昭和 41 年 4 月建設工事に着手し、昭和 43 年 4 月 80,000 m³/日の給水施設が完成、同月から一部給水を開始しました。

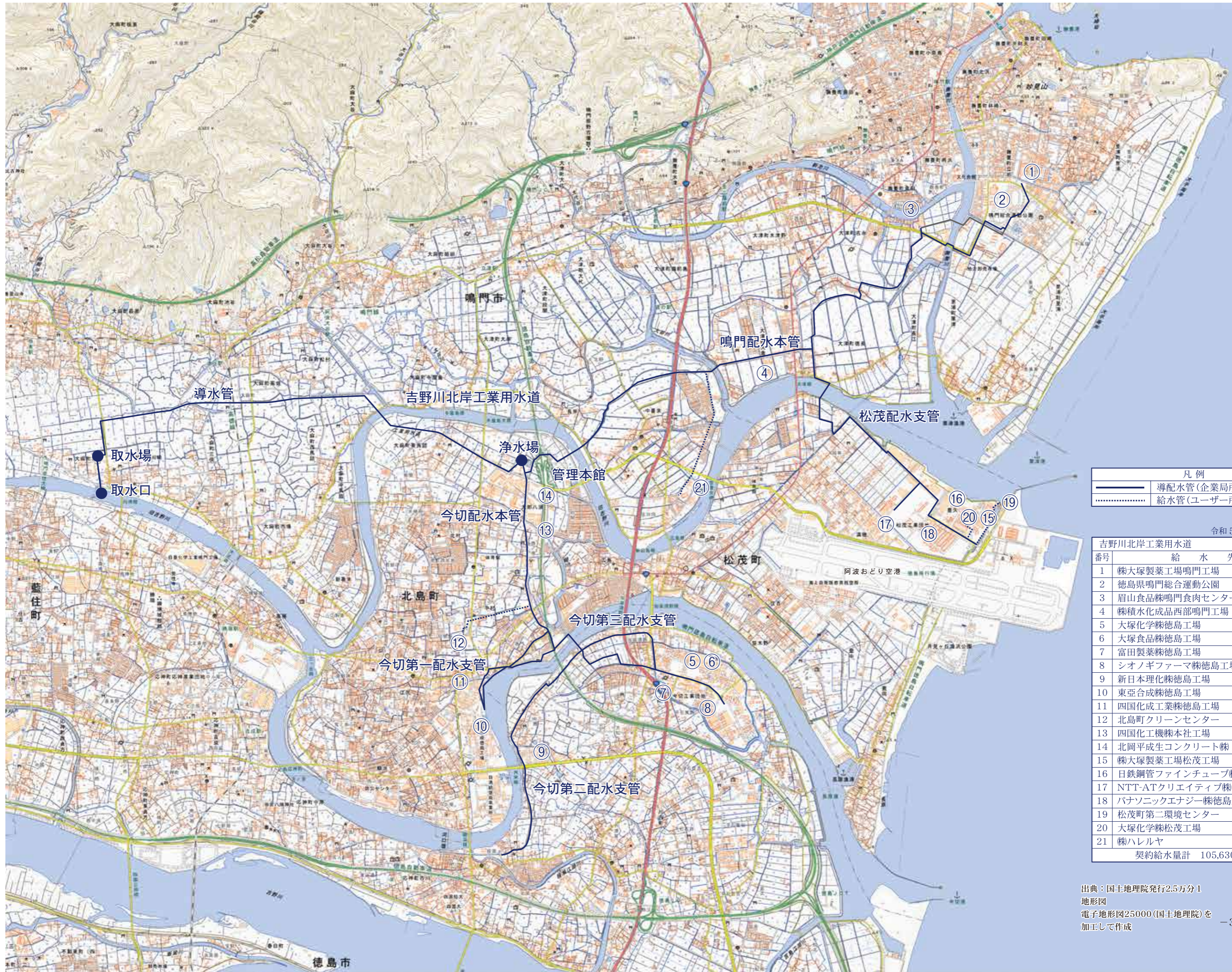
その後、給水量の増加に伴い、昭和 49 年度において更に 80,000 m³/日の給水施設及び泥土処理設備を配置しました。

(1) 施設の概要

施設の概要及び概要図は、次のとおりです。

工業用水道諸元（吉野川北岸工業用水道）

所在地	徳島県板野郡松茂町長岸字上ノ越 502（浄水場）		
水源	旧吉野川表流水		
工期	着手 昭和41年4月 竣工 昭和50年3月、（松茂地区）着手 昭和63年6月 竣工 平成2年6月		
工事費	4,688百万円		
取水水量	172,800m ³ /日 2.0m ³ /秒		
給水能力	160,000m ³ /日		
水質	水温 常温 濁度 15度以下 水素イオン濃度 pH 5.8~8.6		
水圧	配水管末端最低水圧 49kPa		
給水区域	徳島市、鳴門市、板野郡		
取水設備	取水口	取水ゲート2基 鳴門市大麻町津慈地先	
	取水管	φ1,100mm L=229.15m（プレストレストコンクリート管及び鋼管）2条	
	沈砂池	7.0m×48.0m 2池	
	取水ポンプ	30.4m ³ /分×10m×75kW 5台（内1台予備）	
導水管	φ1,350mm L=5,001m（ダクタイル鋳鉄管及び鋼管）1条		
浄水設備	着水井	φ6.0×6.95m	
	急速攪拌槽	4.5m×4.5m×4.43m 2池	
	緩速攪拌池	14.25m×13.5m×3.01m 8池（3段）	
	沈でん池	50.0m×14.25m×4.18m 8池（横流式）	
	薬注設備	PAC、苛性ソーダ 一式	
	薬品貯蔵タンク	PAC用40m ³ 2基 苛性ソーダ用10.0m ³ 1基	
配水設備	配水池	27.7m×43.7m×3.8m 2池	
	配水ポンプ	29.0m ³ /分×20.0m×155kW 5台（内1台予備）	
	配水管	φ1,350~75mm L=24,553m（ダクタイル鋳鉄管及び鋼管）	
予備電源	ガスタービン 関	型式	パッケージ型エジェクタ排気方式 単純開放サイクル1軸式
		出力	1,600PS
		回転数	1,800rPm
	発電機（直結）	型式	3相交流発電機（静止 自動型）回転界磁凸極型
		容量	1,250kVA×1台
		電圧	6,000V
	力率	80%	
	周波数	60Hz	
泥土処理設備	脱水機	型式	全自動ダイヤフラムプレス、濾液濾布洗浄水管分離型
		原水処理量	171,100m ³ /日
		固形物発生量	2,030kg/日
		脱水泥土含水率	50±5%
		濾過面積	123m ²
	濃縮槽	内径	14m
		容量	540m ³
		泥土掻寄機	円周駆動式掻寄機 一式
	付属機器	ケーキホッパ	20m ³ ×2基
		ベルトコンベア	80t/Hr×3基
トロリーブロック		1 ton	
諸装置		空気圧縮装置（空気槽）一式、脱水機油圧ユニット 一式 真空ポンプ、圧力水ポンプ、泥土引抜ポンプ等 一式	



凡例	
	導配水管(企業局所有)
	給水管(ユーザー所有)

令和5年4月1日現在

吉野川北岸工業用水道	
番号	給水先
1	㈱大塚製薬工場鳴門工場
2	徳島県鳴門総合運動公園
3	眉山食品㈱鳴門食肉センター
4	㈱積水化成成品西部鳴門工場
5	大塚化学㈱徳島工場
6	大塚食品㈱徳島工場
7	富田製薬㈱徳島工場
8	シオノギファーマ㈱徳島工場
9	新日本理化学㈱徳島工場
10	東亜合成㈱徳島工場
11	四国化成工業㈱徳島工場
12	北島町クリーンセンター
13	四国化工機㈱本社工場
14	北岡平成生コンクリート㈱
15	㈱大塚製薬工場松茂工場
16	日鉄鋼管ファインチューブ㈱
17	NTT-ATクリエイティブ㈱
18	パナソニックエナジー㈱徳島工場
19	松茂町第二環境センター
20	大塚化学㈱松茂工場
21	㈱ハレルヤ
契約給水量計 105,630m ³ /日	

出典：国土地理院発行2.5万分1
地形図
電子地形図25000(国土地理院)を
加工して作成

(2) 実績給水量の推移

年度	事業 所数	契 約 水 量		実績給水量 (B)	比 率 (B) / (A)	料金収入	備 考
		日 量	年 間 (A)				
昭和43	3	32,000 ^{m³/日}	8,850 ^{千m³}	7,545 ^{千m³}	85.3 [%]	39,826 ^{千円}	
44	6	44,500	16,414	12,413	75.6	73,862	
45	7	57,400	21,353	15,146	70.9	94,022	
46	9	68,700	24,794	18,293	73.8	112,054	
47	9	74,200	26,754	20,251	75.7	119,125	
48	12	83,200	29,930	22,832	76.3	178,495	
49	13	90,500	33,215	24,253	73.0	220,165	
50	13	102,400	37,595	26,695	71.0	327,198	
51	15	109,500	39,968	29,793	74.5	357,224	
52	16	110,400	40,198	29,905	74.4	442,383	
53	16	110,800	40,424	31,281	77.4	444,833	
54	15	110,300	40,438	31,651	78.2	444,918	
55	15	106,930	40,492	31,216	77.1	445,574	
56	15	106,580	39,066	29,732	76.1	540,560	
57	15	103,570	37,748	28,060	74.3	521,393	
58	15	103,670	37,943	29,143	76.8	523,924	
59	16	103,770	37,873	28,982	76.5	523,128	
60	18	105,070	37,997	29,565	77.8	525,615	
61	18	105,070	38,351	30,157	78.6	530,231	
62	18	105,070	38,456	30,021	78.1	532,623	
63	18	105,070	38,351	31,242	81.5	530,968	
平成元	18	105,470	38,467	31,689	82.4	513,770	
2	21	107,570	39,027	31,720	81.3	540,114	
3	22	115,220	41,623	32,538	78.2	577,108	
4	22	117,620	42,722	32,413	75.9	591,039	
5	22	117,620	42,931	32,576	75.9	592,901	
6	22	117,620	42,931	31,988	74.5	593,102	
7	22	117,620	43,049	32,647	75.8	594,506	
8	21	117,520	42,806	31,809	74.3	634,156	
9	21	117,620	42,602	31,961	75.0	632,107	
10	23	118,920	43,227	31,302	72.4	640,736	
11	24	116,920	42,797	29,835	69.7	633,765	
12	24	116,920	42,676	30,616	71.7	630,719	
13	24	119,120	43,548	30,622	70.3	645,138	
14	25	119,120	43,479	29,878	68.7	643,683	
15	25	119,120	43,598	30,157	69.2	643,150	
16	25	119,120	43,479	30,262	69.6	643,768	
17	25	119,120	43,479	26,133	60.1	643,706	
18	25	115,520	42,172	25,015	59.3	624,396	
19	25	115,520	42,280	24,614	58.2	626,160	
20	26	115,320	42,141	23,910	56.7	620,873	
21	25	114,720	42,077	22,326	53.0	618,587	
22	25	106,920	38,943	20,886	53.6	572,247	
23	22	105,820	38,802	20,256	52.2	574,702	
24	22	105,820	38,624	20,160	52.2	571,890	
25	22	105,820	38,624	19,650	50.9	571,889	
26	22	105,820	38,624	20,046	51.9	571,993	
27	22	105,570	38,730	19,009	49.1	573,706	
28	22	105,580	38,534	16,827	43.7	570,616	
29	22	105,580	38,537	16,708	43.4	570,767	
30	22	105,730	38,570	19,233	49.9	571,157	
令和元	22	105,730	38,697	18,834	48.7	572,947	
2	22	105,730	38,591	18,540	48.0	571,846	
3	21	105,630	38,580	18,119	47.0	572,055	
4	21	105,630	38,555	16,951	44.0	571,113	

(3) 給水料金の状況

当工業用水道については責任水量制をとっており、現在の給水単価は 14.8 円/m³（超過使用については 29.6 円/m³）となっています。

なお、現在までにおける給水単価の推移は、次のとおりです。

（単位：円/m³）

区分	年月	昭和					平成
		43.4	48.4	50.1	52.4	56.4	8.4～
基本料金		4.5	6.0	9.0	11.0	13.8	14.8
超過料金		9.0	12.0	18.0	22.0	27.6	29.6

料金の額は基本料金と超過料金の合計となります。ただし、平成元年 4 月以降の料金の額は合計額に 100 分の 103 を乗じて得た額、平成 9 年 4 月以降の料金の額は 100 分の 105 を乗じて得た額、平成 26 年 5 月以降の料金の額は 100 分の 108 を乗じて得た額となります。令和元年 11 月以降の料金の額は 100 分の 110 を乗じて得た額となります。

(4) その他

平成 23 年 2 月に、吉野川北岸工業用水道浄水場に出力 50 kW の太陽光発電システムを設置し、所内電力の一部をまかなっています。

施 設 の 概 要

太陽電池	種 類	多結晶シリコン	逆変換装置	電力変換方式	自励式電圧形 三相 3 線式
	モジュール変換効率	14.0%		定 格 容 量	10 kW×5 台
	モジュール構成	12直列×20並列		定 格 出 力 電 圧	AC202V
	最 大 出 力	50.02 kW		定 格 入 力 電 圧	DC300V
	最大出力動作電圧	319.2V		運 転 力 率	0.95 以上
	最大出力動作電流	156.8A		製 造 者	山洋電気株式会社
	製 造 者	京セラ株式会社			

発 電 実 績 の 推 移

年 度	発 電 電 力 量 kWh	
	インバータ出力	
平成 22 年度	9,642	
平成 23 年度	60,717	
平成 24 年度	62,715	
平成 25 年度	65,679	
平成 26 年度	62,598	
平成 27 年度	61,547	
平成 28 年度	61,300	
平成 29 年度	63,359	
平成 30 年度	62,810	
令和元年度	56,819	
令和 2 年度	65,420	
令和 3 年度	63,316	
令和 4 年度	65,315	
累 計	761,237	

3. 阿南工業用水道事業

阿南工業用水道は那賀川の河床に埋設した集水管により取水した伏流水を、山腹の配水池トンネルへ揚水し、自然流下により各企業に給水するもので、阿南市地区の工業用水の需要に応じるため、昭和43年2月建設工事に着手し、昭和45年4月46,500 m³/日の給水施設が完成、同月から一部給水を開始しました。

その後、平成7年7月にポンプ設備増設工事に着手し、平成8年6月に給水能力93,000 m³/日の施設となっています。

また、近年の那賀川水系で頻発する渇水に対応するため、平成18年7月には阿南工業用水道第1地下水送水設備を、平成20年12月には、同第2地下水送水設備をそれぞれ整備し、渇水時における工業用水の安定供給に努めています。

(1) 施設の概要

施設の概要及び概要図は、次のとおりです。

工業用水道諸元（阿南工業用水道）

所 在 地	徳島県阿南市柳島町北別当21-1		
水 源	那賀川伏流水		
工 期	着手 昭和43年4月 竣工 昭和45年4月、(大湊地区) 着手 昭和60年5月 竣工 昭和62年11月、 (辰巳地区) 着手 平成2年9月 竣工 平成6年10月、(小勝地区) 着手 平成6年2月 竣工 平成10年3月		
工 事 費	5,430百万円		
取 水 量	100,000m ³ /日 1.16m ³ /秒		
給 水 能 力	93,000m ³ /日		
水 質	水 温 常温 濁 度 } 取水点における原水の水質 水素イオン濃度 }		
水 圧	配水管末端最低水圧 49kPa		
給 水 区 域	阿南市臨海部		
集 水 設 備	集 水 管	φ1,000mm～1,650mm L=1,151.56m 接合井 6カ所 集合井 1カ所 ポンプ井 1カ所 防潮遮水壁 1カ所	
	導 水 管	φ1,650mm L=82.1m	
	送 水 ポ ン プ	100,000m ³ /日 送水ポンプ 3台 (内1台予備)	
	送 水 管	φ1,000mm (ダクティル鑄鉄管及びプレストレストコンクリート管) L=3,874.7m	
配 水 設 備	配 水 池	馬蹄形鉄筋コンクリートライニング 3.3m径 1号配水池 L=274.4m 2号配水池 L=305.6m 全 容 量 5,380m ³	
	配 水 管	配 水 本 管 φ1,000mm ダクティル鑄鉄管 L=1,446m 幸野配水支管 φ600mm～700mm ダクティル鑄鉄管 L=5,230m 辰巳配水支管 φ300mm～800mm ダクティル鑄鉄管 L=7,162m 大湊配水支管 φ300mm～500mm ダクティル鑄鉄管 L=1,734m 小勝配水支管 φ600mm ダクティル鑄鉄管 L=2,782m	
主 要 機 器	送 水 ポ ン プ	電動機直結立軸斜流ポンプ φ500mm 全揚程 36m 吐出量 34.80m ³ /分	
	使 用 電 動 機	3相交流巻線型誘導電動機 6,600V 60Hz 300kW 8P 880rpm	
	無 線 テ レ メ ー タ	配水池水位観測及び通話用 70MHz 1W	
	移 動 無 線	送配水管路、保守点検用 150MHz 10W	



凡例	
——	導配水管(企業局所有)
.....	給水管(ユーザー所有)

令和5年4月1日現在

阿南工業用水道	
番号	給水先
1	新日本電工株徳島工場
2	四国電力株阿南発電所
3	株日誠産業新浜工場
4	ソルベイ・スペシャルケム・ジャパン株
5	阿波製紙株阿南事業所
6	株レゾナック五井事業所(徳島)
7	日亜化学工業株辰巳工場
8	倉敷紡績株徳島工場
9	四国電力株橋湾発電所
10	電源開発株橋湾火力発電所
11	倉敷紡績株徳島バイオマス発電所
12	四国電力送配電株阿南変換所
13	電源開発送変電ネットワーク株阿南変換所
契約給水量計 78,500m ³ /日	

出典：国土地理院発行2.5万分1
地形図
電子地形図25000(国土地理院)を
加工して作成

(2) 実績給水量の推移

年度	事業 所数	契 約 水 量		実績給水量 (B)	比 率 (B) / (A)	料金収入	備 考
		日 量	年 間 (A)				
昭和45	2	mi/日 14,900	千mi 5,155	千mi 4,590	% 89.0	千円 23,575	
46	2	16,700	6,096	5,749	94.3	28,342	
47	2	22,700	8,286	7,334	88.5	39,659	
48	2	25,800	9,381	8,106	86.4	56,513	
49	2	29,000	10,585	8,838	83.5	72,335	
50	2	34,100	12,447	9,213	74.0	114,636	
51	2	34,500	12,447	10,433	83.8	115,823	
52	2	34,500	12,593	9,463	75.2	137,628	
53	2	34,500	12,638	10,097	79.9	139,413	
54	2	34,500	12,268	9,997	81.5	135,594	
55	2	34,500	12,595	10,916	86.7	138,585	
56	2	34,500	12,593	10,146	80.6	169,814	
57	2	34,500	12,593	9,831	78.1	173,366	
58	2	34,500	12,627	8,683	68.8	170,292	
59	2	34,500	12,593	8,266	65.6	173,860	
60	2	34,500	12,317	8,545	69.4	184,832	
61	3	35,500	12,765	9,236	72.3	191,603	
62	3	36,000	13,054	9,779	74.9	192,277	
63	4	36,300	13,164	10,142	77.0	197,695	
平成元	5	41,300	14,660	11,708	79.9	220,087	
2	5	41,300	15,075	12,143	80.6	227,394	
3	5	41,300	15,116	12,192	80.7	227,297	
4	6	43,300	15,723	12,002	76.3	232,472	
5	6	43,300	15,805	12,086	76.5	244,278	
6	7	46,800	16,227	12,503	77.1	260,499	
7	10	48,800	17,596	12,331	70.1	274,084	
8	10	50,200	18,248	15,378	84.3	291,876	
9	10	50,200	18,273	15,869	86.8	292,572	
10	12	65,200	23,104	16,425	71.1	365,462	
11	10	64,200	23,834	16,659	69.9	375,576	
12	10	64,200	23,433	19,159	81.8	375,081	
13	10	65,300	23,832	19,250	80.8	380,875	
14	10	65,300	23,835	20,387	85.5	375,771	
15	10	67,800	24,815	21,063	84.9	397,417	
16	10	67,800	24,747	20,998	84.8	397,794	
17	10	67,800	24,747	19,482	78.7	389,708	
18	10	72,700	25,477	21,162	83.1	408,194	
19	10	72,700	26,608	21,144	79.5	411,251	
20	10	72,700	26,536	22,005	82.9	425,330	
21	10	73,100	26,559	21,188	79.8	426,406	
22	10	73,500	26,790	22,035	82.3	429,146	
23	10	73,500	26,901	22,245	82.7	430,425	
24	10	73,500	26,828	22,222	82.8	429,240	
25	10	73,500	26,828	22,002	82.0	421,794	
26	11	75,600	27,347	22,693	83.0	435,775	
27	11	76,500	27,753	23,158	83.4	444,078	
28	11	76,500	27,923	23,345	83.6	444,470	
29	11	78,500	27,953	23,338	83.5	447,240	
30	11	78,500	28,653	24,077	84.0	458,440	
令和元	11	78,500	28,731	23,858	83.0	459,702	
2	13	78,500	28,653	23,712	82.8	458,441	
3	13	80,500	28,685	23,455	81.8	458,953	
4	13	78,500	28,908	23,417	81.0	462,536	

(3) 給水料金の状況

当工業用水道は責任水量制をとっており、現在の給水単価は16円/m³（超過使用については32円/m³）となっています。

なお、現在までにおける給水単価の推移は、次のとおりです。

(単位：円/m³)

年月	昭和					平成
区分	45.4	50.1	52.4	56.4	60.4	5.10～
基本料金	6.0	9.0	11.0	13.8	15.0	16.0
超過料金	12.0	18.0	22.0	27.6	30.0	32.0

料金の額は基本料金と超過料金の合計となります。ただし、平成元年4月以降の料金の額は合計額に100分の103を乗じて得た額、平成9年4月以降の料金の額は100分の105を乗じて得た額、平成26年5月以降の料金の額は100分の108を乗じて得た額となります。令和元年11月以降の料金の額は100分の110を乗じて得た額となります。

4. 令和4年度決算（税抜）の概要

(単位：千円)

区分	令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減 R4-R3
(事業収益)			
1 営業収益	1,040,764	1,036,283	4,481
(1) 給水収益	1,033,649	1,031,008	2,641
(2) 営業雑収益	7,115	5,275	1,840
2 営業外収益	63,575	64,232	△ 657
(1) 受取利息及び配当金	227	119	108
(2) 長期前受金戻入	59,162	59,208	△ 46
(3) 雑収益	4,186	4,905	△ 719
3 特別利益	1,837	1,550	287
(1) 固定資産売却益	1,837	1,550	287
事業収益合計A	1,106,176	1,102,065	4,111
(事業費用)			
1 営業費用	943,672	896,811	46,861
(1) 吉野川北岸工業用水道事業	536,856	520,814	16,042
(2) 阿南工業用水道事業	406,816	375,997	30,819
2 営業外費用	3,787	13,384	△ 9,597
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	3,649	6,290	△ 2,641
(2) 雑支出	138	7,094	△ 6,956
事業費用合計B	947,459	910,195	37,264
純利益A-B	158,717	191,870	△ 33,153

5. 令和5年度当初予算の概要

(単位:千円)

区分		工業用水道事業				
		5年度 (a)	4年度 (b)	増減 (a-b)	前年度対比(%) (a/b×100)	
収益的 収支	事業収益 (A)	営業収益	1,221,910	1,190,825	31,085	102.6
		営業外収益	62,072	60,175	1,897	103.2
		計	1,283,982	1,251,000	32,982	102.6
	事業費用 (B)	営業費用	1,212,727	1,173,509	39,218	103.3
		営業外費用	24,342	23,739	603	102.5
		計	1,237,069	1,197,248	39,821	103.3
純利益 (A - B)		46,913	53,752	△ 6,839	87.3	
資本的 収支	資本的 収入 (C)	固定資産売却代	1,151	108	1,043	1,065.7
		他会計長期借入金	0	200,000	△ 200,000	皆減
		工事負担金	56,540	0	56,540	皆増
		その他の収入	0	102,153	△ 102,153	皆減
		計	57,691	302,261	△ 244,570	19.1
	資本的 支出 (D)	建設改良費	490,572	516,376	△ 25,804	95.0
		企業債償還金	35,249	52,985	△ 17,736	66.5
		他会計長期借入金償還金	85,186	285,186	△ 200,000	29.9
		国庫補助金返還金	13,000	13,000	0	100.0
		投資	20	20	0	100.0
		計	624,027	867,567	△ 243,540	71.9
	資本的収支差引 (C - D)		△ 566,336	△ 565,306	△ 1,030	100.2
補 て ん 財 源	消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	39,352	37,646			
	損益勘定留保資金	526,984	527,660			

土地造成事業

1. 事業の概要

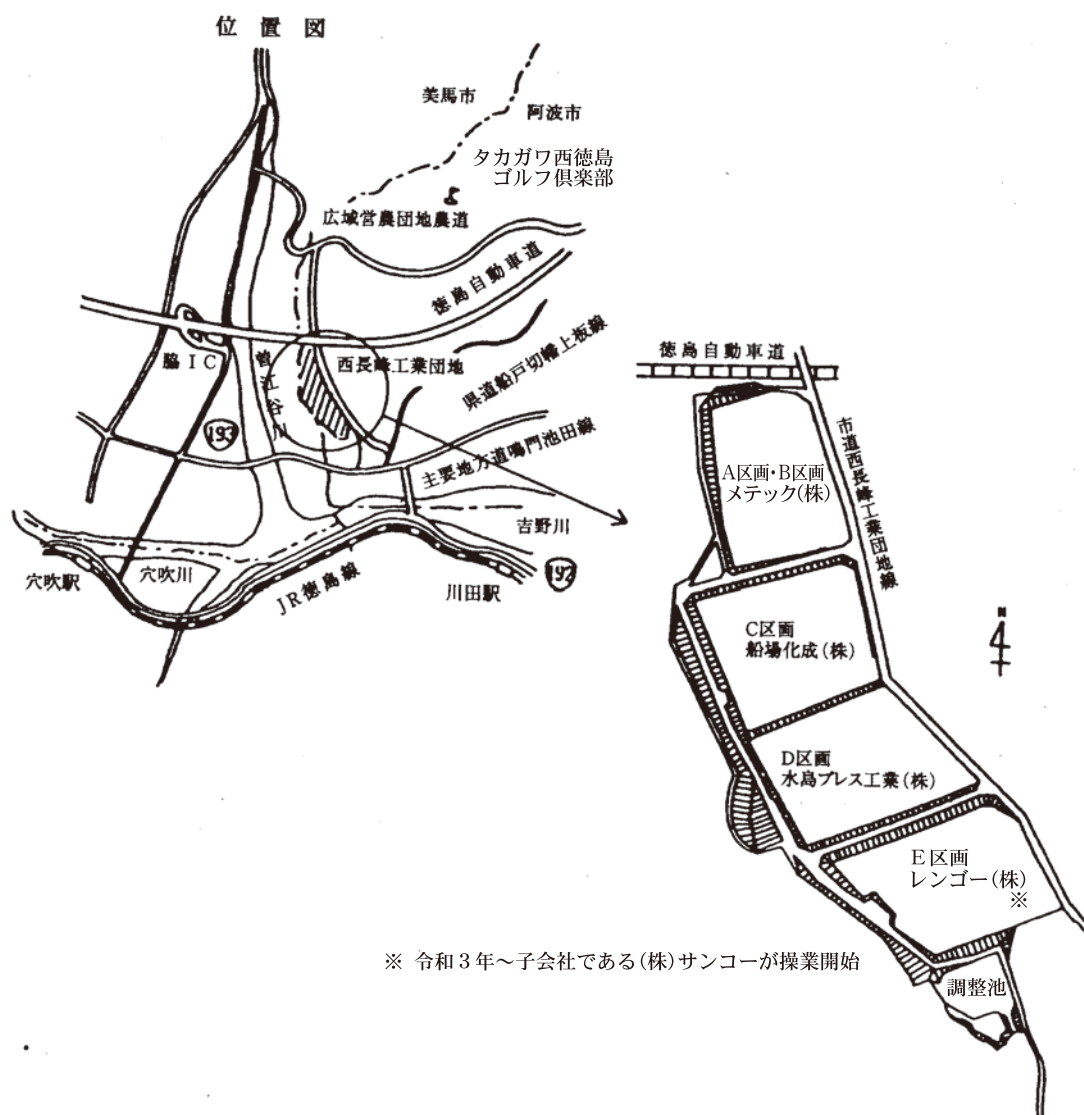
土地造成事業は、本県の豊かな自然と調和を保ちつつ、工業開発により、地域の産業基盤を整備し、地域の発展と住民の福祉増進を図ることを目的として実施するもので、昭和43年10月に知事部局より事業の移管を受けてから現在までに臨海部で1地区、内陸部で5地区の合わせて約182haの工業用地の造成事業を実施しています。

地区名 (所在地)		造成年度	総事業費	造成面積	工業用地積 面	進出企業数
工徳 島西 部地 地区	三好地区工業用地 (三好市)	昭和 43～44	千円 29,500	m ² 16,529	m ² 16,529	1
	美馬地区工業用地 (美馬郡つるぎ町)	43～45	101,087	31,140	30,169	1
鴨島中央工業団地 (吉野川市)		48～58	1,829,016	136,797	122,010	4
土成工業団地 (阿波市)		59～62	2,422,484	198,312	165,352	8
辰巳工業団地 (阿南市)		昭和 平成 43～9	14,178,825	1,259,474	1,170,016	6
西長峰工業団地 (阿波市)		平成 元～4	2,006,695 (令和5年度末 予定)	182,721	122,525 ※うちリース貸付分 29,791 m ²	4

2. 事業実施地区の概要

西長峰工業団地

事業実施地域	阿波市阿波町西長峰地区	
事業年度	平成元年度～令和5年度（予定）	
事業計画面積	182,721 m ²	
土地利用計画	工場用地	122,525 m ²
	道路	40,456 m ²
	公園緑地	9,578 m ²
	排水路	2,432 m ²
	調整池	5,413 m ²
	その他	2,317 m ²
事業費（令和5年度末予定）	2,006,695 千円	
令和5年度事業計画	予算	1,827 千円
	内容	維持管理費等



3. 売却状況

地区名	売却先	売却年月日	売却面積 (㎡)	備考
三好	船井電機(株)	昭和45.1.23	16,529	
美馬	朝日建材工業(株)	" 48.3.19	30,169	
鴨島	昭和精機工業(株) (売却時名称 徳島昭和精機(株))	" 59.4.13	20,797	
	株 大 真 空 (売却時名称 (株)大和真空工業所)	" 59.4.5 " 59.7.16	49,587 39,356	徳島工場 徳島第二工場
	神港テクノス(株) (売却時名称 (株)神港電機計器製作所)	" 59.4.12	4,954	
	株 東 代 電 機 製 作 所	" 59.4.18	(2,439)	昭和62.11.9
	東代エレクトロニクス(株)	" 59.4.20	(4,877)	土地売却契約の解除
	株 コ ン ド ウ	" 62.11.24	7,316	
	計		122,010	
土成	山 本 光 学 (株)	昭和61.11.7 平成8.3.25	13,041 6,194	
	平 野 金 属 (株)	昭和63.1.30	8,457	
	西 精 工 (株)	" 63.9.26	29,843	
	エ ン ゼ ル 製 薬 (株)	" 63.9.26	(18,351)	平成5.12.3 買戻し
	太 陽 フ ァ ス ナ ー (株)	" 63.10.19 平成2.2.3	8,471 7,720	
	ニ チ ハ ン (株)	昭和63.11.30	(6,194)	平成8.3.25 買戻し
	オ リ ジ ン (株)	" 63.11.30	9,540	
	キ シ ダ 化 学 (株)	平成1.10.20	9,891	
	株 ダ イ ウ レ	" 1.11.28	(33,892)	平成5.10.4 買戻し
	近 藤 化 学 (株)	" 2.2.6	19,952	
	帝 國 製 薬 (株)	" 5.10.4 " 9.12.15	33,892 18,351	
	テイコクメディックス(株)	" 5.12.3	(18,351)	平成9.12.15 売買
	計		165,352	
辰巳	日 亜 化 学 工 業 (株)	平成4.9.1	153,225	
		" 6.3.1	16,777	
		" 9.3.25	173,586	
		" 15.11.7(承認)	32,555	
		" 16.1.23(承認)	35,051	
	株 山 本 鉄 工 所	" 4.9.3	46,757	
	王 子 製 紙 (株) (売却時名称 神崎製紙(株))	" 4.10.1	515,743	
	倉 敷 紡 績 (株)	" 5.2.2	163,632	
	株 タ カ ノ プ (売却時名称 高延木工(有))	" 7.1.18	15,137	
	株 ア ル ボ レ ッ ク ス	" 7.3.16	(35,051)	平成16.1.23 売買の承認
フ ジ テ ッ ク 店 (株) (売却時名称 (有)藤川商店)	" 8.12.20	(32,555)	平成15.11.7 売買の承認	
藤 崎 電 機 (株)	" 9.2.25	17,553		
計		1,170,016		
西長峰	水 島 プ レ ス 工 業 (株)	平成7.11.30	30,858	
	船 場 化 成 (株)	" 9.11.27	30,705	
	レ ン ゴ ー (株)	" 26.3.20	31,171	令和3年(株)サンコーが操業開始
	計		92,734	
合 計			1,596,810	

4. 貸付状況

地区名	貸付先	貸付期間	貸付面積 (㎡)	備考
西長峰	メテック(株)	令和3.4.1 令和13.3.31	29,791	

5. 令和4年度決算の概要

(単位：千円)

区分		令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減 R4-R3
収益的 収支	(事業収益)			
	1 営業収益	7,740	7,740	0
	(1) 営業雑収益	7,740	7,740	0
	2 営業外収益	92	45	47
	(1) 受取利息及び配当金	92	45	47
	事業収益合計A	7,832	7,785	47
	(事業費用)			
	1 営業費用	1,102	1,102	0
	(1) 一般管理費	1,102	1,102	0
	事業費用合計B	1,102	1,102	0
純利益A-B		6,730	6,683	47

6. 令和5年度当初予算の概要

(単位：千円)

区分		土地造成事業				
		5年度 (a)	4年度 (b)	増減 (a-b)	前年度対比(%) (a/b×100)	
収益的 収支	事業収益 (A)	営業収益	7,740	7,740	0	100.0
		営業外収益	45	33	12	136.4
		計	7,785	7,773	12	100.2
	事業費用 (B)	営業費用	1,826	1,301	525	140.4
		営業外費用	1	1	0	100.0
		計	1,827	1,302	525	140.3
純利益(A-B)		5,958	6,471	△513	92.1	

駐 車 場 事 業

1. 事業の概要

徳島市中心部における駐車難を緩和するため、都市計画事業として徳島県土木部が藍場町地下駐車場の建設を担当し、第1期工事の完成後企業局がこれを引き継ぎ、昭和48年4月1日公営企業として駐車場事業を設置しました。

当初収容台数100台（第1駐車場）で供用を開始、その後、昭和48年8月これに接続して収容台数200台（第2駐車場）の駐車場建設工事に着手して、昭和49年8月完成し、同月300台の収容能力をもつ駐車場として供用しています。

なお、平成20年度から21年度にかけて、第1駐車場にエレベーターの設置と車いす使用者用駐車区画の増設工事を実施し、平成21年8月には、収容台数が295台となりました。

また、平成15年4月より、松茂町において、パーク・アンド・バスライド方式による高速バス利用者の利便性向上のために、221台の収容能力をもつ松茂駐車場の運営を開始しました。

その後、平成16年3月に9台分の区画を追加し、現在では230台の収容能力をもつ駐車場として供用しています。

なお、平成18年4月から、指定管理者が駐車場の管理運営を行っています。

2. 藍場町地下駐車場

(1) 施設の概要

所在地	徳島市藍場町1丁目	
収容台数	295台（うち車いす使用者用駐車区画 6）	
管制設備	管制装置 事前精算機 検知機 車番認識用カメラ・照明	
受変電設備	変圧器	3φ 400kVA×1台 1φ 75kVA×1台 3φ 200kVA×1台
	配電盤類	引込盤 受電盤 電灯変圧器盤 動力変圧器盤 非常用動力変圧器盤 No.1コンデンサ盤 No.2コンデンサ盤 100V盤 非常動力盤 No.1動力盤 No.2動力盤 電灯盤 防災電源専用盤
	予備電源	200kVA 220V 1,800rpm
	蓄電池	108V 50Ah/10h 制御弁式据置鉛蓄電池（長寿命型）
給排気設備	給気ファン	200V 30kW×3台
	排気ファン	200V 30kW×3台
	デリバントファン	200V 2.2kW×6台
	排煙ファン	200V 15kW×2台
ポンプ設備	排水ポンプ	200V 2.2kW×2台
	汚物ポンプ	200V 3.7kW×6台
	加圧給水ポンプ	200V 2.2kW×2台（1組）
自動火災報知設備	受信機1台 発信機14台 感知器1式	
泡消火ポンプ設備	泡消火ポンプ 200V 37kW×1台	
屋内消火栓設備	屋内消火栓ポンプ 200V 3.7kW×1台	
テレビ監視設備	テレビカメラ モニター	
拡声設備	スピーカー 18台	
昇降機設備	ロープ式エレベーター 2台 乗用兼車イス用 750kg 11名	

項目		第一駐車場	第二駐車場	計
都市計画決定 年 月 日		昭和46年12月24日 徳島市告示番号第75号		
都市計画事業認可 年 月 日		昭和47年2月18日		
収容台数(台)		95	200	295
営業開始年月日		昭和48年4月1日	昭和49年8月13日	
総事業費(千円)		281,829	725,692	1,007,521
工期		47.3~48.1	48.8~49.8	
構造		鉄筋コンクリート 地下1階建		
施設面積	敷地(m ²)	5,600	8,645	14,245
	延面積(m ²)	3,903	6,934	10,837
	駐車(m ²)	1,800	3,600	5,400
1台当り面積 ($\frac{\text{駐車面積}}{\text{駐車台数}}$)		18.9 m ²	18.0 m ²	
1台当り事業費 ($\frac{\text{総事業費}}{\text{駐車台数}}$)		千円 2,818	千円 3,628	千円 3,358
1 m ² 当り事業費 ($\frac{\text{総事業費}}{\text{延面積}}$)		千円 72	千円 105	千円 93

(2) 料金の推移

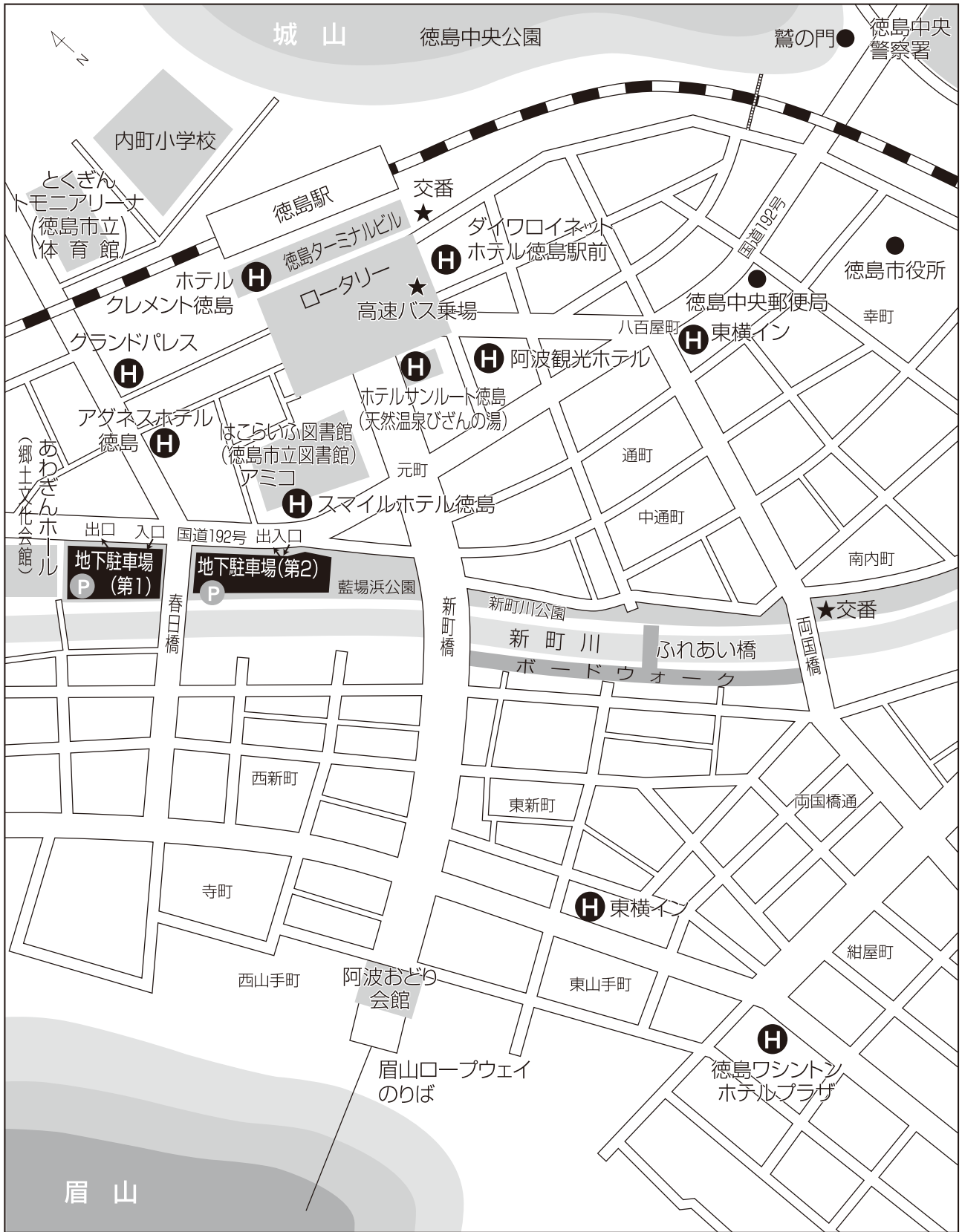
区 分	駐 車 料 金						備 考
	普 通 駐 車		定 期 駐 車		泊り駐車		
	最 初 の 1 時 間	あ と 3 0 分 毎	全 (2 4 時 間)	昼 (7 時 ~ 2 3 時)	夜 (1 7 時 ~ 翌 日 9 時)	H28.3.1以降 18時30分~翌日8時30分 (H28.2.29以前 17時~翌日9時)	
昭和	円	円	円	円	円	円	
48	100	50	15,000	—	—	—	48.4.1 オープン
49	100	50	10,000	6,000	5,000	—	49.8.13 オープン 49.10.1 料金改定
50	150	50	11,000	7,000	6,000	—	50.4.1 料金改定
	150	(7時~23時) 100 (23時~7時) 50	11,000	7,000	6,000	—	50.8.1 料金改定
51	150	(7時~23時) 100 (23時~7時) 50	12,000	8,000	7,000	—	51.4.1 料金改定
52	150	100	12,000	8,000	5,000	1夜につき 500	52.4.1 料金改定
56	200	100	14,000	10,000	6,000	1夜につき 500	56.4.1 料金改定
59	300	100	(24時間) 14,000 日曜日、国民の祝 日の午前9時から 午後5時までは 除く	(7時~22時) 10,000 日曜日、国民の 祝日を除く	(17時~9時) 6,000	1夜につき 1,000	59.4.1 料金改定
平成 8	300	150	(24時間) 16,000 日曜日、国民の祝 日の午前9時から 午後5時までは 除く	(7時~22時) 12,000 日曜日、国民の 祝日を除く	(17時~9時) 7,000	1夜につき 1,200	8.5.1 料金改定
21	300	150	(24時間) 16,000 日曜日、国民の祝 日の午前9時から 午後5時までは 除く	I (7時~22時) 12,000 日曜日、国民 の祝日を除く	(17時~9時) 7,000	1夜につき 1,200	21.4.1 料金改定
				II (7時~22時) 14,000			
23	300	150	(24時間) 16,000 日曜日、国民の祝 日の午前9時から 午後5時までは 除く	I (7時~22時) 12,000 日曜日、国民 の祝日を除く	(17時~9時) 5,000	1夜につき 1,200	23.4.1 料金改定
				II (7時~22時) 14,000			
25	300	150	(24時間) 14,000 日曜日、国民の祝 日の午前9時から 午後5時までは 除く	I (7時~22時) 10,000 日曜日、国民 の祝日を除く	(17時~9時) 4,000	1夜につき 1,200	26.3.1 料金改定
				II (7時~22時) 12,000			
27	300	150 (平日上限1,000円)	(24時間) 19,000 ----- 14,000 日曜日、国民の祝 日の午前9時から 午後5時までは 除く	I (7時~22時) 10,000 日曜日、国民 の祝日を除く	(17時~9時) 4,000	1夜につき 600	27.7.1 上限額設定 28.3.1 料金値下げ 改定等
				II (7時~22時) 12,000			
令和 元	300	150 ※上限1,000円 (8/12~8/15を除く) ※身体障害者手帳、 精神障害者保健福祉 手帳、療育手帳の交 付を受けている障が い者対象 最初の2 時間分無料	(24時間) 19,000 ----- 14,000 日曜日、国民の祝 日の午前9時から 午後5時までは 除く	I (7時~22時) 10,000 日曜日、国民 の祝日を除く	(17時~9時) 4,000	1夜につき 600	元.7.1 料金改定
				II (7時~22時) 12,000			
2	300	150 ※上限1,000円	(24時間) 19,000 ----- 14,000 日曜日、国民の祝 日の午前9時から 午後5時までは 除く	I (7時~22時) 10,000 日曜日、国民 の祝日を除く	(17時~9時) 4,000	1夜につき 600	2.8.10 料金改定
				II (7時~22時) 12,000			
4	"	150 ※上限1,000円 (8/12~8/15を除く)	"	I (7時~23時) 10,000 日曜日、国民 の祝日を除く	"	"	4.8.10 料金改定
				II (7時~23時) 12,000			5.2.20 時間変更

※R元.7.1から身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の交付を受けている障がい者対象 最初の2時間分無料を開始

(3) 年度別営業状況

区分	駐 車 台 数						駐 車 料 金					
	普通駐車 (台)	前年比 (%)	定期駐車 (台)	前年比 (%)	計 (台)	前年比 (%)	普通駐車料金 (円)	前年比 (%)	定期駐車料金 (円)	前年比 (%)	計 (円)	前年比 (%)
昭和48	56,411	—	32	—	56,443	—	14,826,850	—	480,000	—	15,306,850	—
49	130,720	231.7	416	1,300.0	131,136	232.3	32,684,250	220.4	3,136,000	653.3	35,820,250	234.0
50	182,652	139.7	1,335	320.9	183,987	140.3	60,335,450	184.6	10,806,000	344.6	71,141,450	198.6
51	162,115	88.8	1,556	116.6	163,671	89.0	55,385,100	91.8	14,372,000	133.0	69,757,100	98.1
52	137,902	85.1	48,835	3,138.5	186,737	114.1	60,823,700	109.8	18,860,000	131.2	79,683,700	114.2
53	133,147	96.6	61,118	125.2	194,265	104.0	61,345,300	100.9	23,289,000	123.5	84,634,300	106.2
54	127,178	95.5	62,366	102.0	189,544	97.6	59,575,750	97.1	25,375,000	109.0	84,950,750	100.4
55	128,452	101.0	65,995	105.8	194,447	102.6	59,911,950	100.6	27,219,000	107.3	87,130,950	102.6
56	122,277	95.2	66,320	100.5	188,597	97.0	64,123,750	107.0	33,296,000	122.3	97,419,750	111.8
57	126,379	103.4	66,062	99.6	192,441	102.0	68,349,250	106.6	34,444,000	103.4	102,793,250	105.5
58	162,414	128.5	52,021	78.7	214,435	111.4	88,172,900	129.0	27,456,000	79.7	115,628,900	112.5
59	157,522	97.0	54,365	104.5	211,887	98.8	95,976,350	108.9	25,680,000	93.5	121,656,350	105.2
60	150,109	95.3	60,872	112.0	210,981	99.6	91,369,100	95.2	27,070,000	105.4	118,439,100	97.4
61	167,125	111.3	65,041	106.8	232,166	110.0	99,192,100	108.6	28,440,000	105.1	127,632,100	107.8
62	169,459	101.4	64,509	99.2	233,968	100.8	101,653,250	102.5	28,414,000	99.9	130,067,250	101.9
63	174,129	102.8	65,394	101.4	239,523	102.4	104,347,050	102.6	28,492,000	100.3	132,839,050	102.1
平成元	184,575	106.0	62,393	95.4	246,968	103.1	108,444,126	103.9	27,087,379	95.1	135,531,505	102.0
2	192,394	104.2	60,156	96.4	252,550	102.3	113,206,359	104.4	26,988,350	99.6	140,194,709	103.4
3	195,708	101.7	56,804	94.4	252,512	100.0	116,166,942	102.6	25,677,670	95.1	141,844,612	101.2
4	207,345	105.9	53,078	93.4	260,423	103.1	122,979,806	105.9	24,165,149	94.1	147,144,955	103.7
5	205,942	99.3	51,700	97.4	257,642	98.9	123,603,496	100.5	23,831,068	98.6	147,434,564	100.2
6	197,013	95.7	51,988	100.6	249,001	96.6	116,542,331	94.3	23,860,195	100.1	140,402,526	95.2
7	188,933	95.9	51,834	99.7	240,767	96.7	114,958,156	98.6	24,882,971	104.3	139,841,127	99.6
8	187,787	99.4	51,601	99.6	239,388	99.4	129,472,418	112.6	29,361,166	118.0	158,833,584	113.6
9	185,643	98.9	52,986	102.7	238,629	99.7	126,878,915	98.0	29,285,715	99.7	156,164,630	98.3
10	189,822	102.3	50,422	95.2	240,244	100.7	129,765,791	102.3	28,644,762	97.8	158,410,553	101.4
11	192,874	101.6	51,783	102.7	244,657	101.8	125,481,096	96.7	28,133,334	98.2	153,614,430	97.0
12	173,484	89.9	51,753	99.9	225,237	92.1	111,226,743	88.6	28,532,381	101.4	139,759,124	91.0
13	163,855	94.4	52,695	101.8	216,550	96.1	109,490,239	98.4	28,778,096	100.9	138,268,335	98.9
14	149,953	91.5	51,933	98.6	201,886	93.2	100,321,239	91.6	27,317,143	94.9	127,638,382	92.3
15	147,791	98.6	51,057	98.3	198,848	98.5	91,659,286	91.4	26,427,620	96.7	118,086,906	92.5
16	142,207	96.2	52,294	102.4	194,501	97.8	88,500,387	96.6	28,568,578	108.1	117,068,965	99.1
17	127,964	90.0	51,409	98.3	179,373	92.2	78,196,770	88.4	25,965,719	90.9	104,162,489	89.0
18	103,776	81.1	53,444	104.0	157,220	87.6	—	—	—	—	—	—
19	143,944	138.7	45,539	85.2	189,483	120.5	—	—	—	—	—	—
20	133,421	92.7	40,497	88.9	173,918	91.8	—	—	—	—	—	—
21	128,851	96.6	36,481	90.1	165,332	95.1	—	—	—	—	—	—
22	128,724	99.9	33,693	92.4	162,417	98.2	—	—	—	—	—	—
23	119,022	92.5	33,035	98.0	152,057	93.6	—	—	—	—	—	—
24	115,491	97.0	27,442	83.1	142,933	94.0	—	—	—	—	—	—
25	112,326	97.3	25,798	94.0	138,124	96.6	—	—	—	—	—	—
26	109,480	97.5	29,763	115.4	139,243	100.8	—	—	—	—	—	—
27	118,488	108.2	36,073	121.2	154,561	111.0	—	—	—	—	—	—
28	114,588	96.7	45,264	125.5	159,852	103.4	—	—	—	—	—	—
29	104,412	91.1	44,446	98.2	148,858	93.1	—	—	—	—	—	—
30	98,070	93.9	42,746	96.2	140,816	94.6	—	—	—	—	—	—
令和元	86,568	88.3	41,366	96.8	127,934	90.9	—	—	—	—	—	—
2	41,515	48.0	37,320	90.2	78,835	61.6	—	—	—	—	—	—
3	48,232	116.2	49,676	133.1	97,908	124.2	—	—	—	—	—	—
4	71,283	147.8	54,468	109.6	125,751	128.4	—	—	—	—	—	—

(平成18年度から、駐車料金は指定管理者の収入となったため、記載していない。)



3. 松茂駐車場

(1) 施設の概要

所在地	板野郡松茂町中喜来	
収容台数	230台（うち車いす使用者用駐車区画 5）	
施設面積	6,375㎡	
総事業費	638,090千円（併設の物産館等を含めて約17億円）	
設備概要	駐車場管理室	一棟
	管制設備	全自動精算機 駐車券発行機 ゲート装置 管理用計算機 検知機
	監視カメラ設備	8台
	照明設備	7基
	その他	擁壁 防護柵 給水設備 植栽 雨水排水設備等
工期	平成14年5月～平成15年3月	
営業開始年月日	平成15年4月6日	

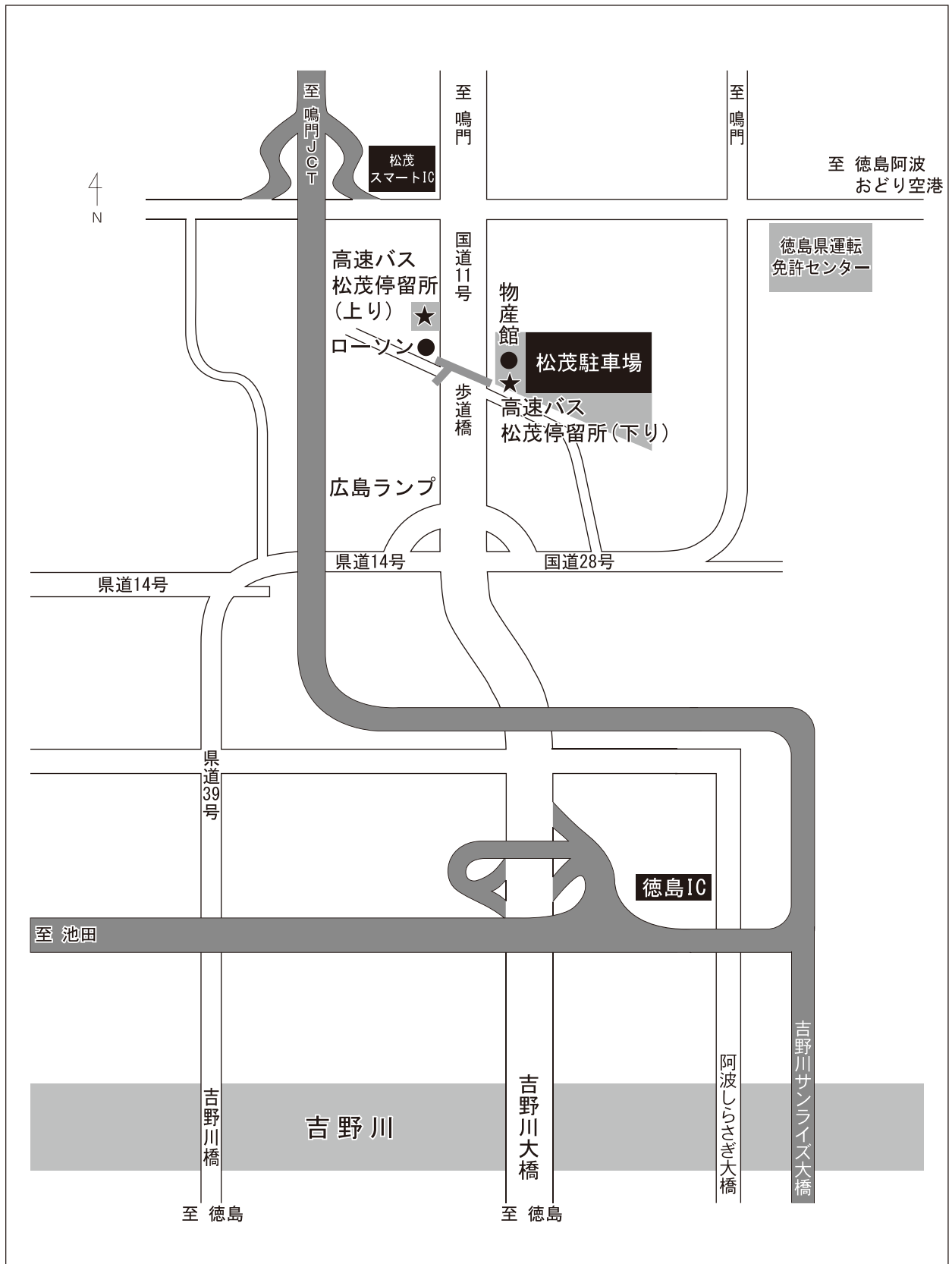
(2) 料金の推移

区分	駐車料金			備考
	最初1時間	以後1時間ごと	1日の上限	
平成15	無料円	100円	800円	15.4.6オープン
20	無料	100	1日目の上限 600 2日目以降の上限 500	20.4.1料金改定
令和元	無料	100	500 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の交付を受けている障がい者対象 最初の24時間分無料	元.7.1料金改定

(3) 年度別営業状況

区分	駐車台数						駐車料金	
	有料駐車(台)	前年比(%)	無料駐車(台)	前年比(%)	計(台)	前年比(%)	料金(円)	前年比(%)
平成15	44,611	—	44,286	—	88,897	—	48,076,190	—
16	52,419	117.5	21,348	48.2	73,767	83.0	57,939,198	120.5
17	46,855	89.4	25,153	117.8	72,008	97.6	49,797,535	85.9
18	48,651	103.8	26,541	105.5	75,192	104.4	—	—
19	34,146	70.2	27,723	104.5	61,869	82.3	—	—
20	36,109	105.7	26,969	97.3	63,078	102.0	—	—
21	33,536	92.9	24,558	91.1	58,094	92.1	—	—
22	34,286	102.2	24,312	99.0	58,598	100.9	—	—
23	33,775	98.5	24,625	101.3	58,400	99.7	—	—
24	33,047	97.8	24,327	98.8	57,374	98.2	—	—
25	30,561	92.5	25,931	106.6	56,492	98.5	—	—
26	30,554	100.0	26,116	100.7	56,670	100.3	—	—
27	29,587	96.8	26,977	103.3	56,564	99.8	—	—
28	30,390	102.7	28,056	104.0	58,446	103.3	—	—
29	30,054	98.9	31,160	111.1	61,214	104.7	—	—
30	29,210	97.2	33,740	108.3	62,950	102.8	—	—
令和元	28,221	96.6	31,509	93.4	59,730	94.9	—	—
2	4,956	17.6	14,950	47.4	19,906	33.3	—	—
3	6,962	140.5	19,181	128.3	26,143	131.3	—	—
4	16,411	235.7	27,748	144.7	44,159	168.9	—	—

（平成18年度から、駐車料金は指定管理者の収入となったため、記載していない。）



4. 令和4年度決算の概要

(単位：千円)

区分		令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減 R4-R3
収益的 収支	(事業収益)			
	1 営業収益	52,196	28,188	24,008
	(1) 駐車場収益	52,150	28,125	24,025
	(2) 営業雑収益	46	63	△ 17
	2 営業外収益	719	1,076	△ 357
	(1) 受取利息及び配当金	54	32	22
	(2) 長期前受金戻入	665	665	0
	(3) 雑収益	0	379	皆減
	事業収益合計A	52,915	29,264	23,651
	(事業費用)			
1 営業費用	67,382	59,754	7,628	
(1) 一般管理費	67,382	59,754	7,628	
事業費用合計B	67,382	59,754	7,628	
純利益A-B	△ 14,467	△ 30,490	16,023	

5. 令和5年度当初予算の概要

(単位：千円)

区分			駐車場事業			
			5年度 (a)	4年度 (b)	増減 (a-b)	前年度対比(%) (a/b×100)
収益的 収支	事業収益 (A)	営業収益	65,060	75,060	△ 10,000	86.7
		営業外収益	695	689	6	100.9
		計	65,755	75,749	△ 9,994	86.8
	事業費用 (B)	営業費用	63,460	74,484	△ 11,024	85.2
		営業外費用	1	1	0	100.0
		計	63,461	74,485	△ 11,024	85.2
純利益 (A-B)			2,294	1,264	1,030	181.5
資本的 収支	資本的収入 (C)	固定資産売却代	0	204	△ 204	皆減
		計	0	204	△ 204	皆減
	資本的支出 (D)	建設改良費	11,170	42,700	△ 31,530	26.2
		計	11,170	42,700	△ 31,530	26.2
資本的収支差引 (C-D)			△ 11,170	△ 42,496	31,326	26.3
	補 て ん 財 源	損益勘定留保資金	11,170	42,496	/	

資 料

建 設 費 (精算額)

1. 電 気 事 業

(単位：円)

資産の種類	坂州発電所 (追立ダム)	日野谷発電所 (長安ロダム)	川口発電所 (川口ダム)	勝浦発電所 (棚野ダム)	マリンピア沖洲 太陽光発電所	和田島太陽光発電所	計
水力発電設備	375,703,774	6,513,689,995	2,045,058,631	4,490,161,962	—	—	13,424,614,362
太陽光発電設備	—	—	—	—	635,490,629	688,155,475	1,323,646,104
土地	921,805	7,588,005	9,315,043	12,852,144	—	—	30,676,997
建物	13,153,796	83,424,521	97,942,040	122,486,674	—	—	317,007,031
水路	127,809,769	1,396,389,388	74,300,721	1,722,700,434	—	—	3,321,200,312
調整池	—	1,905,404,737	961,092,997	505,211,040	—	—	3,371,708,774
機械装置	134,521,854	1,253,242,519	367,779,486	543,807,135	630,000,000	677,250,000	3,606,600,994
備品	730,242	3,793,297	4,758,823	2,339,462	—	—	11,621,824
無形固定資産	1,800	361,335	68,600	224,374,247	—	—	224,805,982
総務費	98,564,508	1,863,486,193	529,800,921	1,356,390,826	5,490,629	10,905,475	3,864,638,552
業務設備	—	6,550,571	—	3,812,496	—	—	10,363,067
投資	—	—	—	115,432	—	—	115,432
計	375,703,774	6,520,240,566	2,045,058,631	4,494,089,890	635,490,629	688,155,475	14,758,738,965

2. 工業用水道事業

(単位：円)

資産の種類	吉野川北岸 工業用水道	阿南工業用水道	計
土地	138,342,160	47,831,478	186,173,638
建物	189,268,992	104,799,408	294,068,400
構築物	2,989,895,222	5,039,049,290	8,028,944,512
機械装置	626,570,973	233,499,790	860,070,763
工具器具及び備品	2,076,595	76,000	2,152,595
無形固定資産	742,216,088	5,160,430	747,376,518
計	4,688,370,030	5,430,416,396	10,118,786,426

3. 駐車場事業

(単位：円)

資産の種類	藍場町地下駐車場	松茂駐車場	計
土地	—	519,729,866	519,729,866
建物	976,815,463	3,294,788	980,110,251
構築物	—	74,226,387	74,226,387
機械装置	30,228,230	40,838,925	71,067,155
備品	295,412	—	295,412
無形固定資産	50,300	—	50,300
投資	131,352	—	131,352
計	1,007,520,757	638,089,966	1,645,610,723

年 表

年度	年 月 日	一 般 事 項	電 気 事 業
昭和25	25. 10. 25	那賀川河川総合開発事業着手 那賀川開発建設事務所設置	
27			坂州発電所発電開始 (27. 5. 10)
30	31. 1. 10	県営発電事務所設置	日野谷発電所一部発電開始 (30. 11. 20)
31	31. 4. 1 32. 2. 1	電気事業設置 電気局発足 管理者 木村弘太郎 (土木部長) 川口発電建設事務所設置	1 電気局を万代町5丁目に設置 2 日野谷発電所古屋川溪流取水設備完成 3 川口発電所建設用地取得及び補償交渉並びに堰堤付近地質弾性波物理探査、ボーリング調査を実施 4 第20回電源開発調整審議会において川口発電所建設を承認 (31. 6. 18) 5 日野谷発電所一部発電開始以降昭和35年3月31日までの売電料金が妥結、12月定例県議会の議決を経て昭和32年4月1日付け通商産業大臣の認可 6 日野谷発電所全発電開始 (32. 2. 5)
32			1 川口発電所建設に関する主体工事の設計・発注 2 日野谷・坂州両発電所水路工作物運転及び保守要領を制定
33	33. 4. 1 34. 3. 16	那賀川開発建設事務所廃止 管理者 東郷一郎 (副知事)	川口ダム左岸堤体部及び発電所基礎堀削完了 通商産業省の岩盤検査受検
34			日野谷・坂州両発電所精算事務完了
35	36. 3. 3	管理者 武市一夫 (総務部長)	1 電気局を新蔵町1丁目に設置 2 昭和35年度以降の売電料金 (日野谷・坂州) が契約期間7ヶ年、年定額制で妥結、9月定例県議会の議決を経て昭和36年4月1日付け通商産業大臣の認可 3 川口発電所一部発電開始 (35. 10. 28) 4 川口発電所設置 (35. 10. 29) 5 昭和35年10月28日から昭和36年3月31日まで及び昭和36年度以降昭和41年度までの売電料金 (川口) が年定額制で妥結、昭和36年3月30日開会の臨時県議会の議決を経て、通商産業大臣に認可申請 (昭和36年7月13日認可)

工業用水道事業	土地造成事業	駐車場事業

年度	年 月 日	一 般 事 項	電 気 事 業
昭和36	36. 11. 1 36. 12. 1	勝浦川総合開発調査事務所設置 那賀川保守所設置 川口発電建設事務所廃止	1 川口発電所赤松川溪流取水設備完成 2 勝浦川総合開発事業ダム地点付近の地形測量及び地質調査を実施 3 各発電所の保守係を統合して那賀川保守所を新設 4 川口発電所建設工事費の精算事務完了 5 川口発電所全発電開始 (36. 8. 22)
37			1 電気局を万代町1丁目に設置 2 上那賀町古屋から相生町日浦に至る那賀川南岸補償林道を地元上那賀町及び相生町へ移管
38	39. 3. 31	勝浦川総合開発調査事務所廃止	1 長安ロダム及び川口ダムに水防無線設備が完成 2 各発電所の電気機械及び水路工作物保守要則を制定 3 勝浦川総合開発事業事業計画作成のための諸調査が完了
39			1 日野谷発電所が電気保安優秀事業場として四国通商産業局長表彰受賞 2 勝浦川総合開発事業・共同施設建設事業として正木ダムサイト左岸地質調査を実施
40	40. 10. 1	管理者 本庄幸人 (総務部長)	日野谷発電所、長安ロダム間通信設備をケーブル方式から電力線搬送方式に変更
41	41. 4. 1 41. 7. 1 42. 1. 1	工業用水道事業設置、企業局発足 管理者 佐々木喜久治 (副知事) 管理者 藤本福隆	1 災害時の防災体制強化のため、企業局災害対策要綱を制定 2 昭和42年度以降の売電料金(日野谷・坂州・川口)が契約期間5ヶ年、年定額制で妥結、昭和42年5月臨時県議会の議決を経て、通商産業大臣の認可
42	42. 4. 1 43. 2. 1	吉野川工業用水道建設事務所設置 阿南工業用水道建設事務所設置	那賀川上流に水位計、雨量計を増設し、長安ロダムに無線伝送し、情報収集を迅速化した
		企業局労働組合と労働協約を締結	

工業用水道事業	土地造成事業	駐車場事業
<p>昭和41年4月1日付け知事部局から移管を受け、地方公営企業法を全面適用し、企業局所管事業として吉野川北岸工業用水道建設着手</p>		
<p>1 阿南工業用水道建設着手 2 阿南工業用水道において、神崎製紙(株)との共同工作物（取水施設）の建設に着手</p>		

年度	年 月 日	一 般 事 項	電 気 事 業
昭和43	43. 4. 1 43. 7. 23 43. 10. 25	吉野川工業用水道建設事務所を廃止し、吉野川工業用水道事務所設置 土地造成事業設置 本局に企業課を設置、那賀川地区土地造成事務所設置	1 川口発電所が電気保安優秀事業場として四国通商産業局長表彰受賞 2 技術研究発表会発足
44			発電施設の保全対策及び安全作業の徹底を図るため、「発電所運転保守基準」を制定
45	45. 4. 1 45. 9. 1 46. 1. 1	阿南工業用水道建設事務所を廃止し、阿南工業用水道事務所設置 勝浦発電建設事務所設置 管理者 企業局長事務取扱 山本 悟（副知事）	1 勝浦発電所電力受給に関する仮契約が合意し、県議会開発特別委員会及び総務委員会の承認を得て同日付け四国電力（株）と仮契約を締結 2 第52回電源開発調整審議会において勝浦発電所建設を承認、勝浦発電所建設着手（45.6.24）
46	46. 4. 1 46. 11. 29	管理者 秋山元躬 職員センター完成	1 勝浦発電所建設工事について、主体工事を発注 2 昭和47年度以降の売電料金（日野谷・坂州・川口）が契約期間4ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、昭和47年3月30日付け通商産業大臣の認可
47	47. 4. 1	那賀川地区土地造成事務所を本局内に移転	洪水時のダム放流警報局を2局増設、鶴林寺中継局を新設し、無線設備に変更

工業用水道事業	土地造成事業	駐車場事業
<p>1 吉野川北岸工業用水道一部給水開始 (43. 4. 17) 契約給水量は、大塚化学薬品(株)他 1 社に対し、日量25, 000m³の給水を開始</p> <p>2 阿南工業用水道の建設について、国庫補助事業に採択</p>	<p>1 昭和 43 年 10 月知事部局から移管を受け、土地造成事業に地方公営企業法を全面適用し、企業局所管事業として着手</p> <p>2 辰巳地区工業用地造成事業着手 (43. 10. 25)</p> <p>3 三好地区、美馬地区工業用地造成事業着手 (44. 3. 7)</p>	
<p>吉野川北岸工業用水道について、先行投資分未売水対策として、昭和 44 年 4 月 1 日付け自治次官通達に基づき経営健全化計画を策定、県議会の同意を得て、昭和 45 年 2 月 26 日付け自治大臣の確認</p>	<p>1 三好地区工業用地造成工事完成 (44. 12. 16)</p> <p>2 三好地区工業用地売却 (船井電気(株)16, 529m²) (45. 1. 31)</p>	
<p>1 吉野川北岸工業用水道第 2 期工事着手 (45. 4. 1)</p> <p>2 吉野川北岸工業用水道について、経営健全化計画を変更 (昭和 46 年 3 月 31 日付け自治大臣の確認)</p> <p>3 阿南工業用水道一部給水開始 (45. 4. 20) 契約給水量は、日本電工(株)他 1 社に対し、日量 14, 900m³の給水を開始</p> <p>4 阿南工業用水道について、先行投資分未売水対策として経営健全化計画を策定、県議会の同意を得て、昭和 46 年 3 月 31 日付け自治大臣の確認</p> <p>5 徳島県工業用水協議会発足</p>	<p>1 辰巳工業用地の埋立工事のため、富岡港の浚渫土砂採取について、建設省許可</p> <p>2 美馬地区工業用地造成工事完成 (46. 1. 10)</p>	
<p>吉野川北岸工業用水道及び阿南工業用水道について、経営健全化計画を変更 (昭和 47 年 3 月 25 日付け自治大臣の確認)</p>	<p>辰巳工業用地において、築堤工事及び埋立工事 (浚渫) を実施</p>	
<p>大麻工業用水道建設着手 (48. 1. 19) (測量委託工事及び用地取得)</p>	<p>美馬地区工業用地売却 (朝日建材工業(株)30, 169m²) (48. 3. 18)</p>	

年度	年 月 日	一 般 事 項	電 気 事 業
昭和48	48. 4. 1	管理者 井上 治 駐車場事業設置	経営近代化事業実施計画を策定
49			1 発電所設備近代化工事着手 (49. 5. 3) 2 昭和 49 ~ 50 年度の売電料金 (日野谷・坂州・川口) を電力受給契約期間中途改定、12 月定例県議会の議決を経て、昭和 49 年 12 月 26 日付け通商産業大臣の認可 3 発電所設備近代化工事完成 (50. 3. 29)
50	50. 4. 1 50. 6. 30	企業課・工務課を廃止し、電力課・工務用地課を設置 坂州発電所、日野谷発電所、川口発電所及び那賀川保修所を統合し、発電総合管理事務所及び施設保全事務所を設置 川口寮完成	1 発電所設備近代化工事の完成により、発電総合管理事務所中央制御所から日野谷、川口両発電所を遠隔監視制御及び坂州発電所を遠隔監視 (50. 4. 1) 2 昭和 51 年度 1 ケ年間の売電料金 (日野谷・坂州・川口) が妥結、2 月定例県議会の議決を経て、昭和 51 年 3 月 31 日付け通商産業大臣の認可
51	51. 4. 1	管理者 三原伸夫	1 昭和 52 年度以降の売電料金 (日野谷・坂州・川口及び勝浦) が契約期間 3 ケ年、年定額制で妥結、2 月定例県議会の議決を経て、昭和 52 年 3 月 31 日付け通商産業大臣の認可 2 9 月 11 日、台風 17 号による日雨量 1,114mm (日本最大) を那賀川上流日早で記録
52	52. 4. 1	業務課を総務課に改称 那賀川地区土地造成事務所を廃止 勝浦発電建設事務所を廃止	1 勝浦発電所一部発電開始 (52. 5. 11) 2 勝浦発電所所有水試験及び調整運転、四国通商産業局の使用前検査受検 3 勝浦発電所全発電開始 (52. 11. 29) 4 昭和 52 ~ 54 年度の売電料金 (日野谷・坂州・川口及び勝浦) を電力受給契約期間中途改定、2 月定例県議会の議決を経て、昭和 53 年 3 月 31 日付け通商産業大臣の認可

工業用水道事業	土地造成事業	駐車場事業
吉野川北岸工業用水道給水料金改定 (48. 4. 1)	鴨島中央工業団地造成事業着手 (48. 12. 20)	知事部局から移管を受け、地方公営企業法を全面適用、管理業務を財団法人徳島県企業公社に委託し、第1駐車場(収容台数100台 第1期分)の営業を開始、第2駐車場(収容台数200台 第2期分)建設に着手 (48. 4. 1)
<p>1 大麻工業用水道給水開始 (49. 6. 1) 契約給水量は、日本専売公社徳島工場に全量(日量2,400m³)を給水</p> <p>2 吉野川北岸工業用水道及び阿南工業用水道の給水料金改定(50. 1. 1)並びに経営健全化計画を変更(50年2月24日付け自治大臣の確認)</p> <p>3 吉野川北岸工業用水道第2期工事完成 (50. 3. 26)</p> <p>4 吉野川北岸工業用水道泥土処理設備完成</p>		<p>1 藍場町地下駐車場第2期工事完成、第2駐車場(収容台数200台)の管理業務を財団法人徳島県企業公社に委託し営業を開始 (49. 8. 13)</p> <p>2 定期駐車料金改定 (49. 10. 1)</p>
大麻工業用水道の給水料金改定 (50. 4. 1)	辰巳工業用地において、土質調査工事を実施	普通駐車、定期駐車料金改定 (50. 4. 1、50. 8. 1)
吉野川北岸工業用水道及び阿南工業用水道について、経営健全化計画を変更(昭和52年3月29日付け自治大臣の確認)		定期駐車料金改定 (51. 4. 1)
<p>1 吉野川北岸工業用水道経営健全化計画を達成</p> <p>2 吉野川北岸工業用水道及び阿南工業用水道の給水料金改定 (52. 4. 1)</p>		普通駐車、定期駐車料金改定 (52. 4. 1)

年度	年 月 日	一 般 事 項	電 気 事 業
昭和53	53. 4. 1	管理者 岡田利美	貯水池保全事業として長安口ダム堆砂材質調査を実施
54	54. 4. 1	工務用地課を工務課に改称	昭和 55 年度以降の売電料金（日野谷・坂州・川口及び勝浦）が契約期間2ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、昭和 55 年 3 月 31 日付け通商産業大臣の認可
55	55. 4. 1	管理者 山本拓治	1 那賀川水系発電施設老朽設備改良工事着手 2 那賀川水系上流に雨量観測局 2 局及び下流にダム放流警報局 4 局を増設
56			昭和 57 年度以降の売電料金（日野谷・坂州・川口及び勝浦）が契約期間2ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、昭和 57 年 3 月 31 日付け通商産業大臣の認可
57	57. 4. 2	管理者 吉松 亨	
58	58. 4. 2	管理者 三谷淳二	昭和 59 年度以降の売電料金（日野谷・坂州・川口及び勝浦）が契約期間2ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、昭和 59 年 3 月 31 日付け通商産業大臣の認可
59			
60	60. 11. 27	職務代理者 立石昌雄	昭和 61 年度以降の売電料金（日野谷・坂州・川口及び勝浦）が契約期間2ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、昭和 61 年 3 月 31 日付け通商産業大臣の認可
61	61 4. 1	管理者 小原靖之	
62			昭和 63 年度以降の売電料金（日野谷・坂州・川口及び勝浦）が契約期間2ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、昭和 63 年 3 月 31 日付け通商産業大臣の認可

工業用水道事業	土地造成事業	駐車場事業
昭和54年度末を持って累積欠損金を解消		
阿南工業用水道について、経営健全化計画を変更(昭和55年4月3日付け自治大臣の確認)		
1 吉野川北岸工業用水道、阿南工業用水道及び大麻工業用水道の給水料金改定(56.4.1) 2 阿南工業用水道について、経営健全化計画を変更(昭和56年12月25日付け自治大臣の確認)		駐車場事業経営健全化計画を策定
	鴨島中央工業団地造成工事に着手(57.12.28)	
	鴨島中央工業団地造成工事完了(59.3.23)	
	1 鴨島中央工業団地売却完了(株大和真空工業所他4社 122,010㎡)(59.7.16) 2 土成工業団地造成事業に着手(59.12.28) 3 辰巳工業用地第2次造成工事着手(59.7.14)	普通駐車料金改定(59.4.1)
1 阿南工業用水道経営健全化計画達成 2 阿南工業用水道の給水料金改定(60.4.1) 3 阿南工業用水道大湊地区配水管布設工事着手(60.5.27)	1 土成工業団地西地区造成工事着手(60.8.22) 2 辰巳工業用地土地利用計画策定(60.11)	
阿南工業用水道遮水壁に舟通しを新設	1 土成工業団地西地区造成工事完了(61.5.31) 2 分譲実績1社 13,041㎡	
阿南工業用水道大湊配水支管布設工事完成(62.11.4)	1 土成工業団地東地区造成工事着手(62.5.18) 2 辰巳工業用地基盤整備計画策定(63.3.31) 3 土成工業団地東地区造成工事着手(63.3.4) 4 分譲実績1社 8,458㎡	

年度	年 月 日	一 般 事 項	電 気 事 業
昭和63	63. 4. 1	管理者 折野國男	平成元年度の売電料金（日野谷・坂州・川口及び勝浦）に消費税相当額を加算することで妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成元年3月31日付け通商産業大臣の認可
平成元	元. 12. 2	管理者 近藤通弘	平成2年度以降の売電料金（日野谷・坂州・川口及び勝浦）が契約期間2ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成2年3月30日付け四国通商産業局長の認可
2			
3	3. 4. 1	管理者 藤井 格	平成4年度以降の売電料金（日野谷・坂州・川口及び勝浦）が契約期間2ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成4年3月31日付け四国通商産業局長の認可
4			
5	5. 11. 28	職務代理者 江川徹也	平成6年度以降の売電料金（日野谷・坂州・川口及び勝浦）が契約期間2ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成6年3月30日付け四国通商産業局長の認可
6	6. 4. 1	管理者 宮本 清	
7			平成8年度以降の売電料金（日野谷・坂州・川口及び勝浦）が契約期間2ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成8年3月26日付け四国通商産業局長の認可
8	8. 4. 1	管理者 古川文雄	平成9年度の売電料金（日野谷・坂州・川口及び勝浦）を消費税等相当額を含む額とすることで妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成9年3月31日付け四国通商産業局長の認可

工業用水道事業	土地造成事業	駐車場事業
吉野川北岸工業用水道松茂配水管 布設工事着手 (63. 6. 9)	分譲実績 5 社 72, 401m ²	
消費税の創設に伴い、吉野川北岸 工業用水道、阿南工業用水道及び 大麻工業用水道の給水料金改定 (元. 4. 19)	1 辰巳工業用地基盤整備工事着 手 (元. 4) 2 西長峰工業団地造成工事に着 手 (元. 11) 3 土成工業団地売却完了 (2. 2. 6) 4 分譲実績 4 社 71, 458m ²	
1 吉野川北岸工業用水道松茂配水 支管布設工事完成 (2. 6. 30) 2 阿南工業用水道辰巳配水支管布 設工事着手 (2. 9. 13)		
	西長峰工業団地造成工事に着手 (3. 12. 6)	
	1 西長峰工業団地造成工事完了 (5. 3. 15) 2 分譲実績(辰巳) 4 社 879, 357m ²	
1 阿南工業用水道の給水料金改定 (5. 10. 1) 2 阿南工業用水道小勝配水支管布 設工事着手 (6. 2. 8)	分譲実績(辰巳) 1 社 16, 777m ²	第 2 駐車場エレベーター設置工 事着手 (5. 10. 29)
1 阿南工業用水道辰巳配水支管布 設工事完成 (6. 10. 31) 2 吉野川北岸工業用水道について 改築事業が国庫補助事業に採択	分譲実績 (辰巳) 2 社 50, 188m ²	第 2 駐車場エレベーター設置工事 完了 (6. 7. 26)
1 吉野川北岸工業用水道改築補助 事業着手 (7. 7. 25) 2 阿南工業用水道 3 号ポンプ設備 増設工事着手 (7. 7. 25)	分譲実績 (西長峰) 1 社 30, 858m ²	事前精算機、全自動精算機 (第 1 駐車場) による運用を開始 (7. 4. 1)
1 吉野川北岸工業用水道の給水料 金改定 (8. 4. 1) 2 阿南工業用水道 3 号ポンプ設備 完成 (8. 6. 3)	分譲実績 (辰巳) 3 社 223, 694m ²	普通駐車、定期駐車料金改定 (8. 5. 1)

年度	年 月 日	一 般 事 項	電 気 事 業
平成9	9. 4. 1	管理者 柰保謹司	1 総合管理事務所建設工事着手 (9. 8. 23) 2 平成10年度以降の売電料金(日野谷・坂州・川口及び勝浦)が契約期間2ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成10年3月31日付け四国通商産業局長の認可
10	10. 4. 1 10. 11. 21	管理者 須見照彦 職務代理者 松平 清	1 長安口ダム資料館開館 (10. 6. 7) 2 総合管理事務所建設工事完成 (11. 3. 30)
11	11. 4. 1	管理者 牧田 久 発電総合管理事務所、施設保全事務所、吉野川工業用水道事務所、阿南工業用水道事務所を統合し、総合管理事務所を設置	1 総合管理事務所から坂州・日野谷、川口、勝浦発電所を遠隔監視制御 (11. 4. 1) 2 平成12年度以降の売電料金(日野谷・坂州・川口及び勝浦)が契約期間2ヶ年、年定額制で妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成12年3月16日付け四国通商産業局長の認可
12	12. 4. 1	管理者 飛田昌利	佐那河内風力発電所建設着手 (12. 10. 27)
13	13. 4. 1	管理者 辰己真一	1 佐那河内風力発電所運転開始 (13. 5. 9) 2 日野谷発電所2号水車発電機の改良に伴い400kW出力増 (13. 7. 23) 3 平成14年度以降の売電料金(日野谷・坂州・川口及び勝浦)が2ヶ年、二部料金制(定額95:従量5)で妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成14年3月6日付けで四国通商産業局長に届出
14	14. 4. 1	管理者 中村 稔	日野谷発電所3号水車発電機の改良に伴い300kW出力増 (14. 7. 29)
15	15. 4. 1 15. 7. 22	管理者 谷川博文 管理者 神野 俊	平成16年度以降の売電料金(日野谷・坂州・川口及び勝浦)が2ヶ年、二部料金制(定額90:従量10)で妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成16年3月5日付けで四国経済産業局長に届出
16	16. 4. 1 16. 6. 16 16. 8. 9	管理者 錦野斌彦 職務代理者 松本竹生 管理者 鎌田啓三	
17	17. 4. 1	管理者 笹川皓一	1 日野谷発電所1号水車発電機の改良に伴い300kW出力増 (17. 7. 22) 2 平成18年度以降の売電料金(日野谷・坂州・川口及び勝浦)が2ヶ年、二部料金制(定額85:従量15)で妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成18年3月6日付けで四国経済産業局長に届出

工業用水道事業	土地造成事業	駐車場事業
<p>1 消費税率の改訂及び地方消費税の創設に伴い、吉野川北岸工業用水道、阿南工業用水道及び大麻工業用水道の給水料金改定 (9. 4. 1)</p> <p>2 阿南工業用水道小勝配水支管布設工事完成 (10. 3. 31)</p>	<p>分譲実績 (西長峰) 1 社 30,705m²</p>	
<p>総合管理事務所から吉野川北岸工業用水道、阿南工業用水道を遠隔監視制御及び大麻工業用水道を遠隔監視 (11. 4. 1)</p>		
<p>大麻工業用水道の給水料金改定 (13. 10. 1)</p>		
	<p>1 西長峰工業団地分譲単価引き下げ (14. 10. 1)</p> <p>2 西長峰工業団地においてリース制度の導入 (14. 10. 1)</p>	
		<p>1 知事部局から移管を受け、収容台数 221 台の松茂駐車場の運営を開始 (15. 4. 1)</p> <p>2 松茂駐車場において、9 台分の区画を新たに追加し、収容台数を 230 台に変更 (16. 3. 30)</p>
		<p>藍場町地下駐車場第 2 駐車場において、全自動精算機による運用を開始 (16. 12. 1)</p>

年度	年 月 日	一 般 事 項	電 気 事 業
平成18	18. 4. 1	管理者 河野博喜	
19			<p>1 長安口ダムを国土交通省に移管 (19. 4. 1)</p> <p>2 佐那河内風力発電所廃止 (19. 7. 13)</p> <p>3 平成 20 年度以降の売電料金 (日野谷・坂州・川口及び勝浦) が 2 ヶ年、二部料金制 (定額 80 : 従量 20) で妥結、2 月定例県議会の議決を経て、平成 20 年 3 月 10 日付けで四国経済産業局長に届出</p>
20	20. 4. 1	管理者 大竹将夫	
21	21. 4. 1	管理者 真木和茂	平成 22 年度以降の売電料金 (日野谷、坂州、川口及び勝浦) が 2 ヶ年、二部料金制 (定額 80 : 従量 20) で妥結、2 月定例県議会の議決を経て、平成 22 年 3 月 4 日付けで四国経済産業局長に届出
22	22. 4. 1	管理者 上野秀樹 本局に経営企画課を設置	企業局水源の森 (企業局 55 周年記念事業) として、那賀町古屋谷川上流域の山林約 11ha を購入
23	23. 4. 1 23. 5. 1	職務代理者 青木志行 管理者 福田哲也	平成 24 年度以降の売電料金 (日野谷、坂州、川口及び勝浦) が 2 ヶ年、二部料金制 (定額 80 : 従量 20) で妥結、2 月定例県議会の議決を経て、平成 24 年 3 月 2 日付けで四国経済産業局長に届出
24	24. 4. 1	管理者 海野修司 経営企画課を廃止	<p>1 マリンピア沖洲太陽光発電所建設着手 (24. 10. 3)</p> <p>2 和田島太陽光発電所建設着手 (24. 12. 21)</p>

工業用水道事業	土地造成事業	駐車場事業
1 大麻工業用水道の給水料金改定 (18. 4. 1) 2 阿南工業用水道第1地下水送水設備完成 (18. 7. 25) 3 大麻工業用水道事業廃止 (19. 3. 31)		指定管理者として財団法人徳島県企業公社が駐車場の管理運営を開始 (18. 4. 1)
阿南工業用水道第2地下水送水設備完成 (20. 12. 18)	1 西長峰工業団地分譲条件の見直し (20. 11. 4) ①分譲価値の引き下げ ②リース価値の引き下げ ③分譲代金の割賦制度の新規導入 ④立地可能業種の拡大 (商工労働部) 「道路貨物運送業」、「倉庫業」、「こん包業」及び「卸売り業」を追加。	松茂駐車場料金改定 (20. 4. 1)
四国4県における工業用水道被災時の相互応援に関する協定締結 (22. 2. 24)		1 藍場町地下駐車場定期駐車料金改定 (21. 4. 1) 2 第1駐車場の収容台数を95台に変更 (21. 7. 15) 3 第1駐車場エレベータ設置工事完了 (21. 8. 3) 4 第1駐車場車いす使用者用駐車区画増設工事完了 (21. 8. 3)
	貸付実績 (西長峰) 1社 29,791㎡	
		藍場町地下駐車場定期駐車料金改定 (23. 4. 1)
1 鳥取県と徳島県との工業用水道被災時の相互応援協定に関する協定締結 (24. 11. 1) 2 (社)徳島県建設業協会と、「大規模災害発生時における工業用水道施設の応急復旧工事に関する協定及び覚書」締結 (24. 12. 5)		指定管理者として株式会社ティビィケイが駐車場の管理運営を開始 (24. 4. 1)

年度	年 月 日	一 般 事 項	電 気 事 業
平成25	25. 4. 1	管理者 納田盛資 総務課を廃止し、経営企画戦略課を設置	1 マリンピア沖洲太陽光発電所運転開始 (25. 4. 24) 2 和田島太陽光発電所運転開始 (25. 10. 29) 3 平成26年度以降の売電料金(日野谷、坂州、川口及び勝浦)が2ヶ年、二部料金制(定額80:従量20)で妥結、2月定例県議会の議決を経て、平成26年3月5日付けで四国経済産業局長に届出
26	26. 4. 1	管理者 中内雅三	
27	27. 4. 1 27. 5. 1	管理者 中内雅三 管理者 酒池由幸	平成28年度以降の売電料金(日野谷、坂州、川口及び勝浦)が2ヶ年、二部料金制(定額80:従量20)で妥結し、2月定例県議会で議決
28	28. 4. 1	管理者 黒石康夫 電力課・工務課を総合管理事務所に移転	川口ダム自然エネルギーミュージアム整備(28. 7. 23)
29	29. 4. 1	管理者 小原直樹 電力課・工務課を廃止し、事業推進課を設置	1 平成30年度以降の売電料金(日野谷、坂州、川口及び勝浦)が2ヶ年、二部料金制(定額80:従量20)で妥結し、2月定例県議会で議決 2 坂州発電所大規模改良に伴い出力100kW増加(30. 3. 28)
30	30. 4. 1	管理者 東端久和	
31 令和元	31. 4. 1 元. 5. 1	管理者 東端久和 管理者 木下慎次 総合管理事務所を総合管理推進センターに改称 管理課を総合管理課に改称 保全課を施設保全課に改称	令和2年度以降の売電料金(日野谷、坂州、川口及び勝浦)が2ヶ年、二部料金制(定額80:従量20)で妥結し、2月定例県議会で議決

工業用水道事業	土地造成事業	駐車場事業
	分譲実績（西長峰）1社 31,171㎡	藍場町地下駐車場定期駐車料金改定（26.3.1）
長岸河底横過トンネル工事完成 （26.11.21） 大瀨配水管路接続工事完成 （27.3.10） 今切第三配水支管布設替工事完成 （27.3.25）		
		藍場町地下駐車場普通駐車料金について平日上限を設定（27.7.1） 藍場町地下駐車場における泊まり駐車の料金値下げ及び全日24時間定期を新設（28.3.1）
幸野配水支管布設替工事完成 （29.5.26） 鳴門配水本管（撫養）布設替工事完成（30.3.16）		
幸野配水支管管更生工事完成 （30.6.7） （一社）徳島県設備業協会と「大規模災害発生時における工業用水道管路の応急復旧工事に関する協定」締結（30.8.21） 中国四国農政局 四国東部農地防災事務所と被災時の緊急分水に関するパートナーシップ協定書締結（31.3.28） 吉野川下流域土地改良区と工業用水道施設と農業用水施設の連結に係る管理に関する覚書締結（31.3.28） 松茂町と大規模災害時等における用水路の使用に関する協定書締結（31.3.28）		
		1 藍場町地下駐車場の普通駐車料金について土日祝日の上限を設定（元.7.1） 2 松茂駐車料金改定（元.7.1） 3 藍場町地下駐車場、松茂駐車場障がい者対象減額制度開始（元.7.1） 4 松茂駐車場入車24時間に変更（元.7.1）

年度	年 月 日	一 般 事 項	電 気 事 業
令和2	2. 4. 1 2. 5. 9 2. 7. 18	管理者 折野好信 職務代理者 林 泰右 管理者 市原俊明	
3	3. 4. 1 3. 12. 1	管理者 黒下耕司 総合管理推進センターの課（総合管理課、運転制御課、ダム管理課、施設保全課）を廃止し、担当制へ移行 管理者 板東安彦	令和4年度以降の売電料金（日野谷、坂州、川口及び勝浦）が2ヶ年、二部料金制（定額80：従量20）で妥結し、2月定例県議会で議決
4	4. 4. 1	管理者 板東安彦	川口ダム自然エネルギーミュージアム第2駐車場にカヌー・SUP施設を整備（5.3.30）
5	5. 4. 1 5. 6. 1	職務代理者 中川雅人 管理者 上田輝明	

工業用水道事業	土地造成事業	駐車場事業
幸野配水支管布設替工事完成 (3. 3. 9) 今切配水本管管更生工事完成 (3. 3. 22)		1 藍場町地下駐車場の普通駐車料金について1年中、上限を1,000円に設定(2. 8. 10) 2 松茂駐車場において新精算機稼働開始(3. 2. 20) 3 藍場町地下駐車場第2駐車場車いす使用者用駐車区画増設工事完了(3. 3. 11)
今切第二配水支管農水管接続口設置工事完成(3. 7. 21) 鳴門配水本管農水管接続口設置工事完成(4. 3. 31)	貸付実績(西長峰) 1社 29,791㎡	藍場町地下駐車場第2エレベータ取替工事完了(3. 5. 29)
		1 藍場町地下駐車場の普通駐車料金について 8/12から8/15を除く日の上限を1,000円に変更(4. 8. 10) 2 藍場町地下駐車場の定期駐車について、昼間の時間を7時から23時に延長(5. 2. 20) 3 藍場町地下駐車場において新精算システム(車番認識システム)稼働開始(5. 2. 24)